

文部科学省委託調査

平成25年度  
開かれた大学づくり  
に関する調査研究

【調査報告書】

平成26年3月

株式会社 リベルタス・コンサルティング

## 目 次

【調査実施概要】.....	1
1 調査研究の趣旨.....	1
2 調査研究の方法.....	1
A アンケート調査結果　—　大学編.....	4
【回答者プロフィール】.....	5
1 開かれた大学づくりに関する実施方針.....	6
2 公開講座の実施状況.....	15
3 地域連携の状況.....	30
4 学生と地域が協働して行う活動の状況.....	38
5 社会人の学び直しについて.....	46
6 出前講座・出張講義について.....	52
7 サテライト教室の設置状況.....	55
8 施設の開放状況.....	56
9 開かれた大学づくりに期待する効果・今後の方針.....	58
B アンケート調査結果　—　短大編.....	62
【回答者プロフィール】.....	63
1 開かれた大学づくりに関する実施方針.....	64
2 公開講座の実施状況.....	73
3 地域連携の状況.....	86
4 学生と地域が協働して行う活動の状況.....	94
5 社会人の学び直しについて.....	102
6 出前講座・出張講義について.....	108
7 サテライト教室の設置状況.....	111
8 施設の開放状況.....	112
9 開かれた大学づくりに期待する効果・今後の方針.....	114
【ま と め】.....	118
【ヒアリング調査結果】.....	124
【参考資料：調査票】.....	134

## 【調査実施概要】

### 1 調査研究の趣旨

大学（短期大学含む。以下同じ）は、地域や社会の知の拠点として、住民の生涯学習や多種多様な主体の活動を支えると同時に、地域や社会の課題を共に解決し、その活性化や新たな価値の創造への積極的な貢献が求められている。また、こうした取組を継続して行うことが、大学が地域等に支えられる機関としての確固たる地位を築くことにつながっていくと考えられる。

本調査は、住民等の学習機会として重要な役割を担っている大学公開講座の実施状況のほか、大学と地域との関係構築に関する取組状況を把握・分析することで、開かれた大学づくりを推進するための基礎資料を得ることを目的に実施する。

### 2 調査研究の方法

#### (1)有識者会議の設置

本調査の円滑な実施を図るため、必要な助言等を得ることを目的に、有識者等で構成される検討委員会を設置した。

有識者会議の委員構成は下記の通り。

#### 【有識者会議 委員構成(敬称略 五十音順)】

阿部 耕也	静岡大学イノベーション社会連携推進機構・地域連携生涯学習部部門長、教授
松田 恵示	東京学芸大学 芸術・スポーツ科学系 教授・学長補佐
山本 幸一	明治大学教学企画部 副参事

有識者会議の開催概要は以下の通り。

#### 【有識者会議 開催概要】

	時期	内容
第1回	平成26年1月28日(火) 16時00分～	調査方針の検討、アンケート調査票の検討
第2回	平成26年3月27日(木) 16時00分～	アンケート結果分析、報告書の検討

## (2) 調査の実施

各大学が実施している公開講座のほか、大学と地域との関係構築に関する取組状況を正確に把握するとともに、クロス分析を行う。また、各種の基礎データを交えたクロス分析も併せて行うことで、各大学の特色を捉えて類型化する。

### ① 調査対象・方法

すべての大学（短期大学含む）に対してアンケート調査を実施する。調査の対象期間は、平成24年度（時点調査を行う項目は平成25年5月1日）及び平成26年度の計画とした。

#### 【アンケート】

	実施概要
対象者	全国の大学・短期大学 1,128件
調査方法	郵送配布・郵送回収
回収率	90.2% (1,017/1,128)

### ② 調査項目

調査項目については、【参考資料（調査票）】を参照

## (3) 現地ヒアリング

### ① 調査対象

アンケート調査等の結果から開かれた大学づくりについて特色ある取り組みを行っている大学に対してヒアリング調査を行った。

ヒアリング調査の対象は以下の通り。

#### 【ヒアリング調査対象(五十音順)】

- 神田外語大学
- 高知大学
- 滋賀県立大学
- 富山大学
- 福岡大学

### ② 調査項目

調査項目は以下の通り。

## 【ヒアリング項目】

### (1)開かれた大学づくりに関する方針

- ・実施方針
  - ・公開講座、地域連携、産学連携における学内の優先順位
  - ・学長の注力度
  - ・各組織への大学としてのバックアップ
- ・組織体制
- ・活動概要

### (2)公開講座の実施状況

- ・学内での位置付け/組織体制
- ・実施規模/対象/内容
- ・特色ある取り組み

### (3)学生の地域貢献活動・社会人の学び直しに関する取組

- ・学内での位置付け/組織体制
- ・実施規模/対象/内容
- ・特色ある取り組み

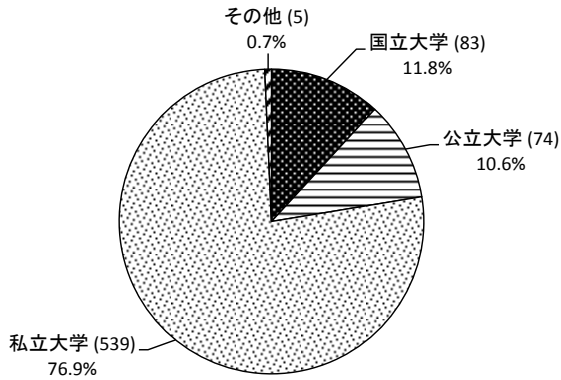
### (4)地域連携

- ・学内での位置付け/組織体制
- ・実施規模/連携先/内容
- ・特色ある取り組み
- ・地域連携のメリット/今後の課題

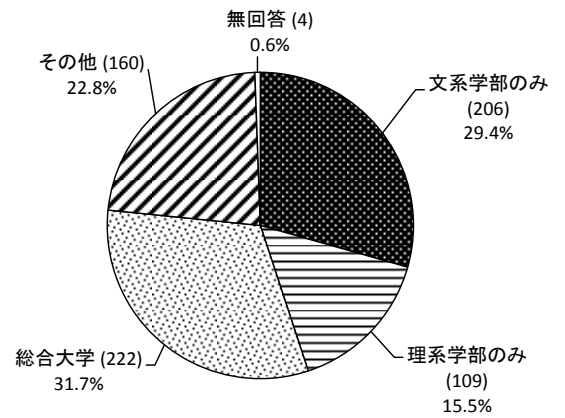
A アンケート調査結果 — 大学編

【回答者プロフィール】

図表 1 設置者の別



図表 2 学部構成



図表 3 設置者別 学部構成

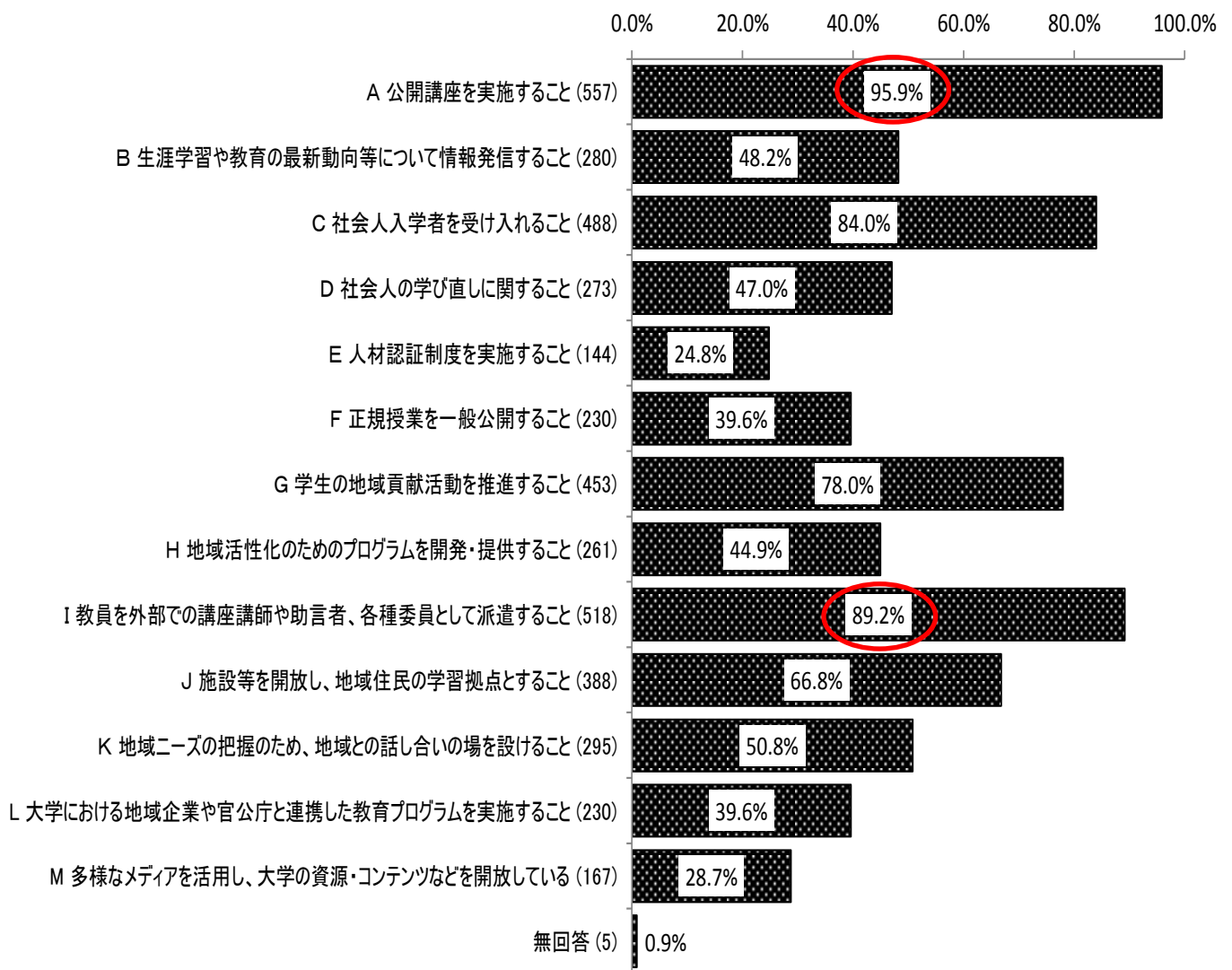
	全体	文系学部のみ	理系学部のみ	総合大学	その他	無回答
全体	701 ( 100.0%)	206 ( 29.4%)	109 ( 15.5%)	222 ( 31.7%)	160 ( 22.8%)	4 ( 0.6%)
国立大学	83 ( 100.0%)	11 ( 13.3%)	16 ( 19.3%)	46 ( 55.4%)	9 ( 10.8%)	1 ( 1.2%)
公立大学	74 ( 100.0%)	12 ( 16.2%)	22 ( 29.7%)	22 ( 29.7%)	18 ( 24.3%)	0 ( 0.0%)
私立大学	539 ( 100.0%)	182 ( 33.8%)	71 ( 13.2%)	153 ( 28.4%)	130 ( 24.1%)	3 ( 0.6%)
その他	5 ( 100.0%)	1 ( 20.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 20.0%)	3 ( 60.0%)	0 ( 0.0%)

## 1 開かれた大学づくりに関する実施方針

### (1) 地域社会に対する大学の貢献の取り組み実施有無

地域社会に対する大学の貢献の取り組みの実施有無をきいた。特に「公開講座を実施すること」、「教員を外部での講座講師や助言者、各種委員として派遣すること」の回答割合が高かった。その他、「社会人入学者を受け入れること」、「学生の地域貢献活動を推進すること」の割合も高かった。

図表 4 実際に取り組んでいる項目（複数回答）



※社会人の学び直し：公開講座や正規授業等を通して実施され、主に「受講者個人の新たなキャリア形成に資する」ことを目的とする取り組み

※人材認証制度：一定の学習や活動を経た人材の能力、経験等を客観的に証明するような仕組みをいいます。例えば、〇〇支援士、〇〇学習士、〇〇コーディネーター、〇〇マイスター等の称号・呼称の付与のほか、講座受講による修了証の交付等の仕組みまでを広く対象とします。ただし、法令に根拠のある資格やある時点における知識・技能の到達度だけを認定する検定試験は含みません。



【設置者別の回答状況】

地域社会に対する大学の貢献の取り組みの実施有無を設置者別にみた。全ての項目で『国立大学』が実施している割合が高かった。

図表 5 設置者別 実際に取り組んでいる項目（複数回答）

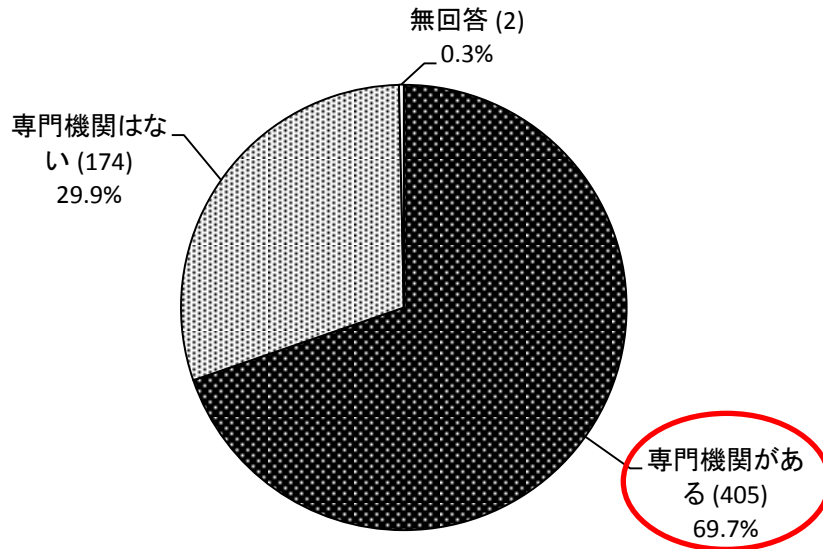
	全体	A 公開講座を実施すること	B 生涯学習や教育の最新動向等について情報発信すること	C 社会人入学者を受け入れること	D 社会人の学び直しに関すること	E 人材認証制度を実施すること	F 正規授業を一般公開すること	G 学生の地域貢献活動を推進すること	H 地域活性化のためのプログラムを開発・提供すること	I 教員を外部での講座講師や助言者、各種委員として派遣すること	J 施設等を開放し、地域住民の学習拠点とすること	K 地域ニーズの把握のため、地域との話し合いの場を設けること	L 大学における地域企業や官公庁と連携した教育プログラムを実施すること	M 多様なメディアを活用し、大学の資源・コンテンツなどを開放している	無回答
全体	581 ( 7.38)	557 ( 95.9%)	280 ( 48.2%)	488 ( 84.0%)	273 ( 47.0%)	144 ( 24.8%)	230 ( 39.6%)	453 ( 78.0%)	261 ( 44.9%)	518 ( 89.2%)	388 ( 66.8%)	295 ( 50.8%)	230 ( 39.6%)	167 ( 28.7%)	5 ( 0.9%)
国立大学	73 ( 10.19)	72 ( 98.6%)	56 ( 76.7%)	69 ( 94.5%)	50 ( 68.5%)	51 ( 69.9%)	50 ( 68.5%)	62 ( 84.9%)	54 ( 74.0%)	71 ( 97.3%)	61 ( 83.6%)	57 ( 78.1%)	48 ( 65.8%)	43 ( 58.9%)	0 ( 0.0%)
公立大学	56 ( 7.79)	55 ( 98.2%)	29 ( 51.8%)	43 ( 76.8%)	32 ( 57.1%)	15 ( 26.8%)	27 ( 48.2%)	45 ( 80.4%)	26 ( 46.4%)	53 ( 94.6%)	36 ( 64.3%)	34 ( 60.7%)	21 ( 37.5%)	20 ( 35.7%)	0 ( 0.0%)
私立大学	450 ( 6.86)	428 ( 95.1%)	193 ( 42.9%)	374 ( 83.1%)	189 ( 42.0%)	78 ( 17.3%)	151 ( 33.6%)	345 ( 76.7%)	180 ( 40.0%)	392 ( 87.1%)	289 ( 64.2%)	202 ( 44.9%)	161 ( 35.8%)	102 ( 22.7%)	5 ( 1.1%)
その他	2 ( 10.00)	2 ( 100.0%)	2 ( 100.0%)	2 ( 100.0%)	2 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 100.0%)	1 ( 50.0%)	1 ( 50.0%)	2 ( 100.0%)	2 ( 100.0%)	2 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)

(2) 開かれた大学づくりに関する専門機関・組織の設置状況

① 公開講座に関する専門機関組織

公開講座に関する専門機関・組織の設置有無をきいた。「専門機関がある」の回答割合は約 70%であった。

図表 6 公開講座に関する専門機関・組織の設置有無



【設置者別の回答状況】

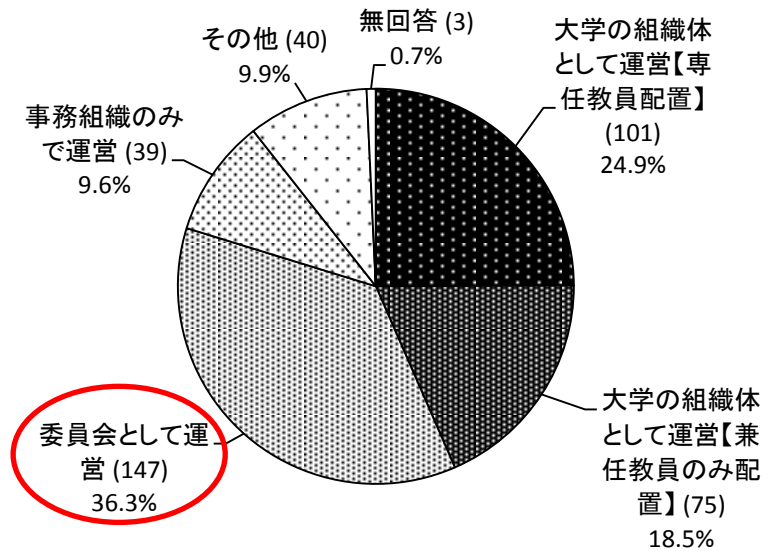
公開講座に関する専門機関・組織の設置有無を設置者別にみた。特に『公立大学』の「専門機関がある」との回答割合が高かった。

図表 7 設置者別 公開講座に関する専門機関・組織の設置有無

	全体	専門機関がある	専門機関はない	無回答
全体	581 ( 100.0%)	405 ( 69.7%)	174 ( 29.9%)	2 ( 0.3%)
国立大学	73 ( 100.0%)	49 ( 67.1%)	24 ( 32.9%)	0 ( 0.0%)
公立大学	56 ( 100.0%)	46 ( 82.1%)	10 ( 17.9%)	0 ( 0.0%)
私立大学	450 ( 100.0%)	309 ( 68.7%)	139 ( 30.9%)	2 ( 0.4%)
その他	2 ( 100.0%)	1 ( 50.0%)	1 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)

公開講座に関する専門機関・組織の運営組織についてきた。特に「委員会として運営」の回答割合が高い。次いで、「大学の組織体として運営【専任教員配置】」、「大学の組織体として運営【兼任教員のみ配置】」の回答割合が高かった。

図表 8 公開講座に関する専門機関・組織の運営組織



【設置者別の回答状況】

公開講座に関する専門機関・組織の運営組織を設置者別にみた。全体として最も割合の高かった「委員会として運営」については『私立大学』の回答割合が高かった。また、「大学の組織体として運営【専任教員配置】」は『国立大学』、「大学の組織体として運営【兼任教員のみ配置】」は『公立大学』の回答割合が高い。

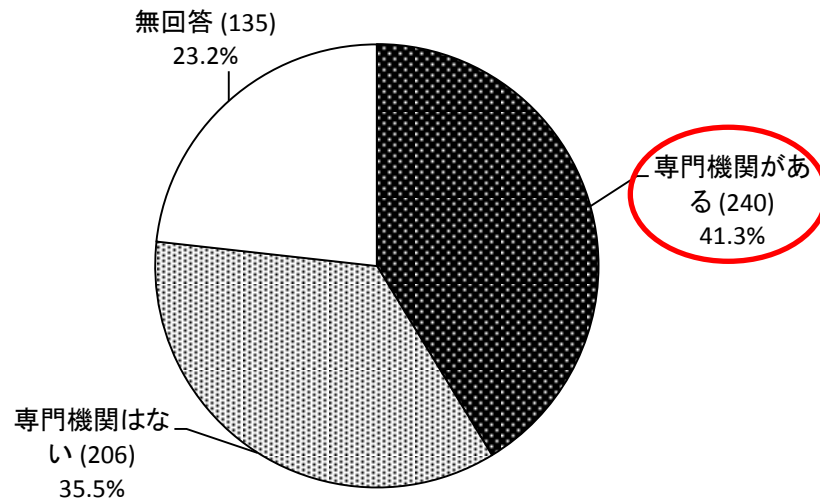
図表 9 設置者別 公開講座に関する専門機関・組織の運営組織

	全体	大学の組織体として運営【専任教員配置】	大学の組織体として運営【兼任教員のみ配置】	委員会として運営	事務組織のみで運営	その他	無回答
全体	405 ( 100.0%)	101 ( 24.9%)	75 ( 18.5%)	147 ( 36.3%)	39 ( 9.6%)	40 ( 9.9%)	3 ( 0.7%)
国立大学	49 ( 100.0%)	23 ( 46.9%)	10 ( 20.4%)	11 ( 22.4%)	0 ( 0.0%)	5 ( 10.2%)	0 ( 0.0%)
公立大学	46 ( 100.0%)	15 ( 32.6%)	17 ( 37.0%)	7 ( 15.2%)	1 ( 2.2%)	6 ( 13.0%)	0 ( 0.0%)
私立大学	309 ( 100.0%)	62 ( 20.1%)	48 ( 15.5%)	129 ( 41.7%)	38 ( 12.3%)	29 ( 9.4%)	3 ( 1.0%)
その他	1 ( 100.0%)	1 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)

②地域連携に関する専門機関・組織

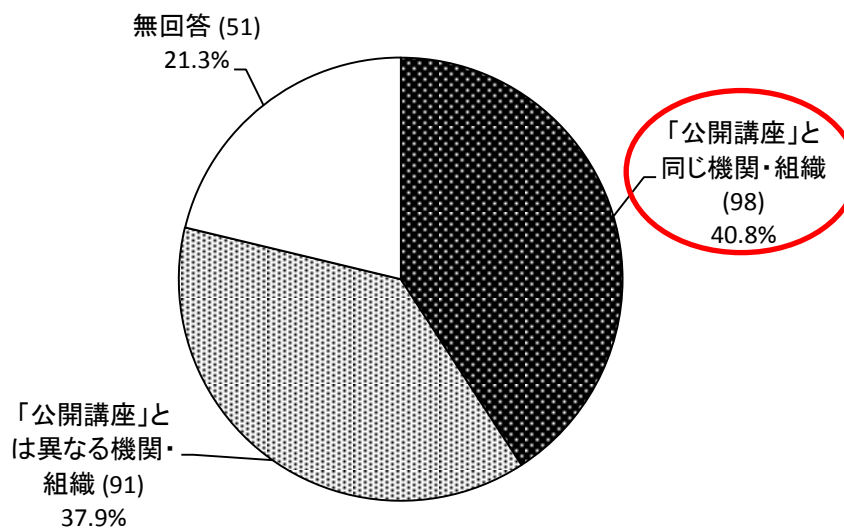
地域連携に関する専門機関・組織の有無についてきいた。「専門機関がある」との回答割合は約 41%であった。

図表 10 地域連携に関する専門機関・組織の設置有無



地域連携に関する専門機関・組織の設置状況についてきいた。「公開講座」と同じ機関・組織」との回答割合が高かったが、「公開講座」とは異なる機関・組織」との回答割合も同程度であった。

図表 11 地域連携に関する専門機関・組織の設置状況



【設置者別の回答状況】

地域連携に関する専門機関組織の有無を設置者別にみた。特に『公立大学』の「専門機関がある」との回答割合が高かった。

図表 12 設置者別 地域連携に関する専門機関・組織の設置有無

	全体	専門機関がある	専門機関はない	無回答
全体	581 ( 100.0%)	240 ( 41.3%)	206 ( 35.5%)	135 ( 23.2%)
国立大学	73 ( 100.0%)	40 ( 54.8%)	17 ( 23.3%)	16 ( 21.9%)
公立大学	56 ( 100.0%)	32 ( 57.1%)	4 ( 7.1%)	20 ( 35.7%)
私立大学	450 ( 100.0%)	168 ( 37.3%)	183 ( 40.7%)	99 ( 22.0%)
その他	2 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)

地域連携に関する専門機関組織の設置状況を設置者別にみた。「公開講座」と同じ機関・組織」との回答割合は『公立大学』の回答割合が高い。「公開講座」とは異なる機関・組織」との回答割合は『国立大学』の回答割合が高かった。

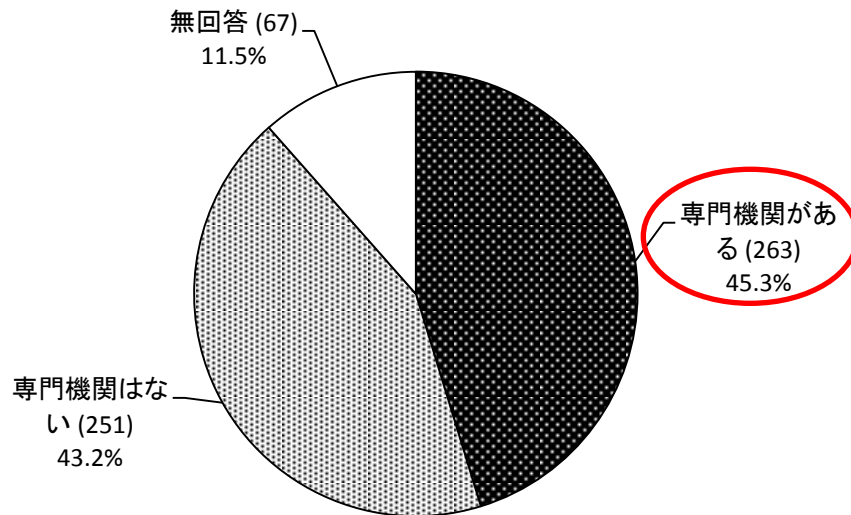
図表 13 設置者別 地域連携に関する専門機関・組織の設置状況

	全体	「公開講座」と同じ機関・組織	「公開講座」とは異なる機関・組織	無回答
全体	240 ( 100.0%)	98 ( 40.8%)	91 ( 37.9%)	51 ( 21.3%)
国立大学	40 ( 100.0%)	16 ( 40.0%)	21 ( 52.5%)	3 ( 7.5%)
公立大学	32 ( 100.0%)	20 ( 62.5%)	4 ( 12.5%)	8 ( 25.0%)
私立大学	168 ( 100.0%)	62 ( 36.9%)	66 ( 39.3%)	40 ( 23.8%)
その他	0	0	0	0

③産学連携に関する専門機関・組織

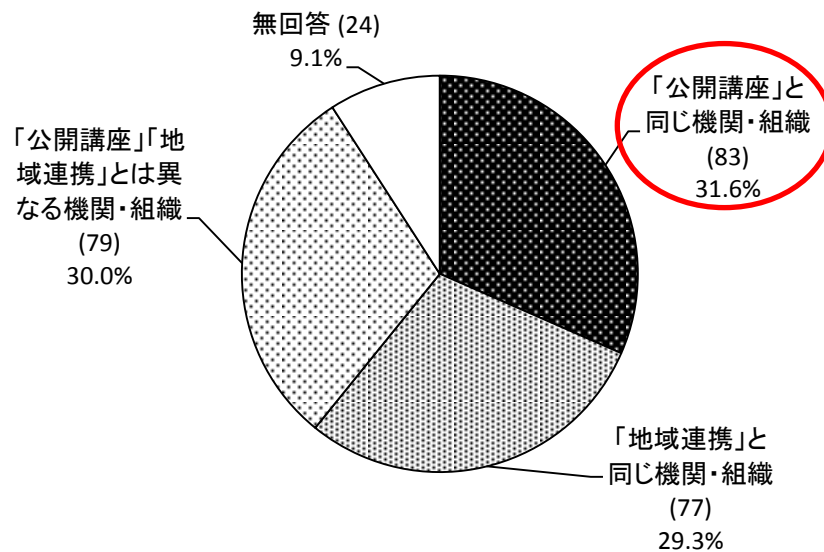
産学連携に関する専門機関・組織の設置有無をきいた。「専門機関がある」との回答割合が高いが、「専門機関はない」との回答割合も同程度であった。

図表 14 産学連携に関する専門機関・組織の設置有無



産学連携に関する専門機関・組織の設置有無をきいた。「公開講座」と同じ機関・組織」との回答割合が高いが、「地域連携」と同じ機関・組織」、「公開講座」「地域連携」とは異なる機関・組織」とも同程度の回答割合であった。

図表 15 産学連携に関する専門機関・組織の設置状況



【設置者別の回答状況】

産学連携に関する専門機関・組織の設置有無を設置者別にみた。『国立大学』の「専門機関がある」との回答割合が高い。

図表 16 設置者別 産学連携に関する専門機関・組織の設置有無

	全体	専門機関がある	専門機関はない	無回答
全体	581 ( 100.0%)	263 ( 45.3%)	251 ( 43.2%)	67 ( 11.5%)
国立大学	73 ( 100.0%)	52 ( 71.2%)	9 ( 12.3%)	12 ( 16.4%)
公立大学	56 ( 100.0%)	38 ( 67.9%)	12 ( 21.4%)	6 ( 10.7%)
私立大学	450 ( 100.0%)	172 ( 38.2%)	229 ( 50.9%)	49 ( 10.9%)
その他	2 ( 100.0%)	1 ( 50.0%)	1 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)

産学連携に関する専門機関・組織の設置状況を設置者別にみた。『公立大学』の「公開講座」と同じ機関・組織」の回答割合が突出して高い。

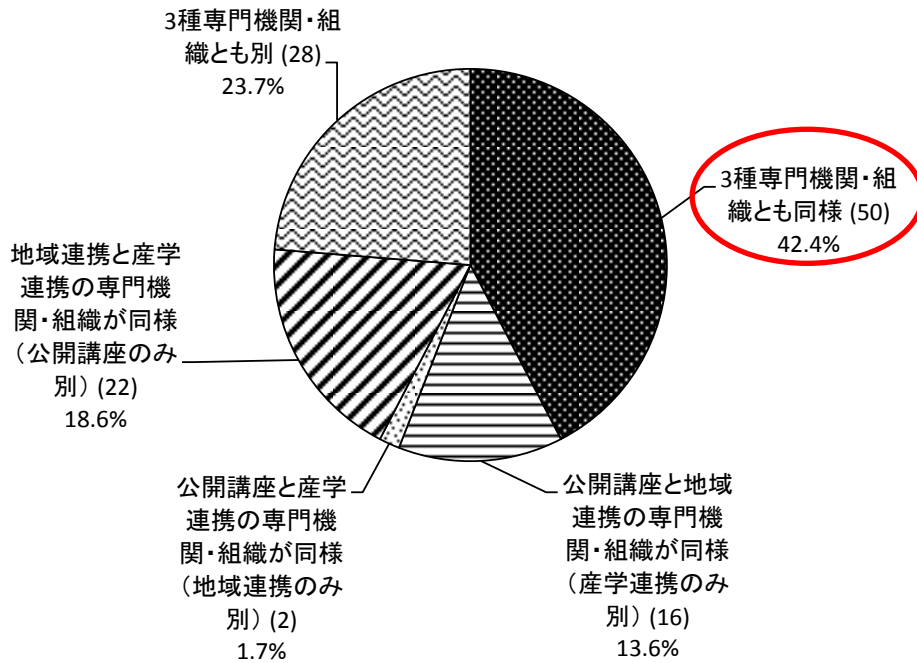
図表 17 設置者別 産学連携に関する専門機関・組織の設置状況

	全体	「公開講座」と同じ機関・組織	「地域連携」と同じ機関・組織	「公開講座」「地域連携」とは異なる機関・組織	無回答
全体	263 ( 100.0%)	83 ( 31.6%)	77 ( 29.3%)	79 ( 30.0%)	24 ( 9.1%)
国立大学	52 ( 100.0%)	11 ( 21.2%)	16 ( 30.8%)	21 ( 40.4%)	4 ( 7.7%)
公立大学	38 ( 100.0%)	25 ( 65.8%)	7 ( 18.4%)	5 ( 13.2%)	1 ( 2.6%)
私立大学	172 ( 100.0%)	47 ( 27.3%)	54 ( 31.4%)	52 ( 30.2%)	19 ( 11.0%)
その他	1 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)

④各専門機関・組織の同一状況

上述の各専門機関・組織の設置状況を踏まえ、各専門機関・組織の同一状況をみた（3種の専門機関・組織が全てある大学のみを集計）。特に「3種専門機関・組織とも同様」の回答割合が高い。次いで、「3種専門機関・組織とも別」の回答割合が高かった。

図表 18 各専門機関・組織の同一状況



※3種の専門機関・組織が全てある大学のみを集計

【設置者別の回答状況】

各専門機関・組織の同一状況を設置者別にみた。『公立大学』の「3種専門機関・組織とも同様」の回答割合が突出して高い。

図表 19 設置者別 各専門機関・組織の同一状況

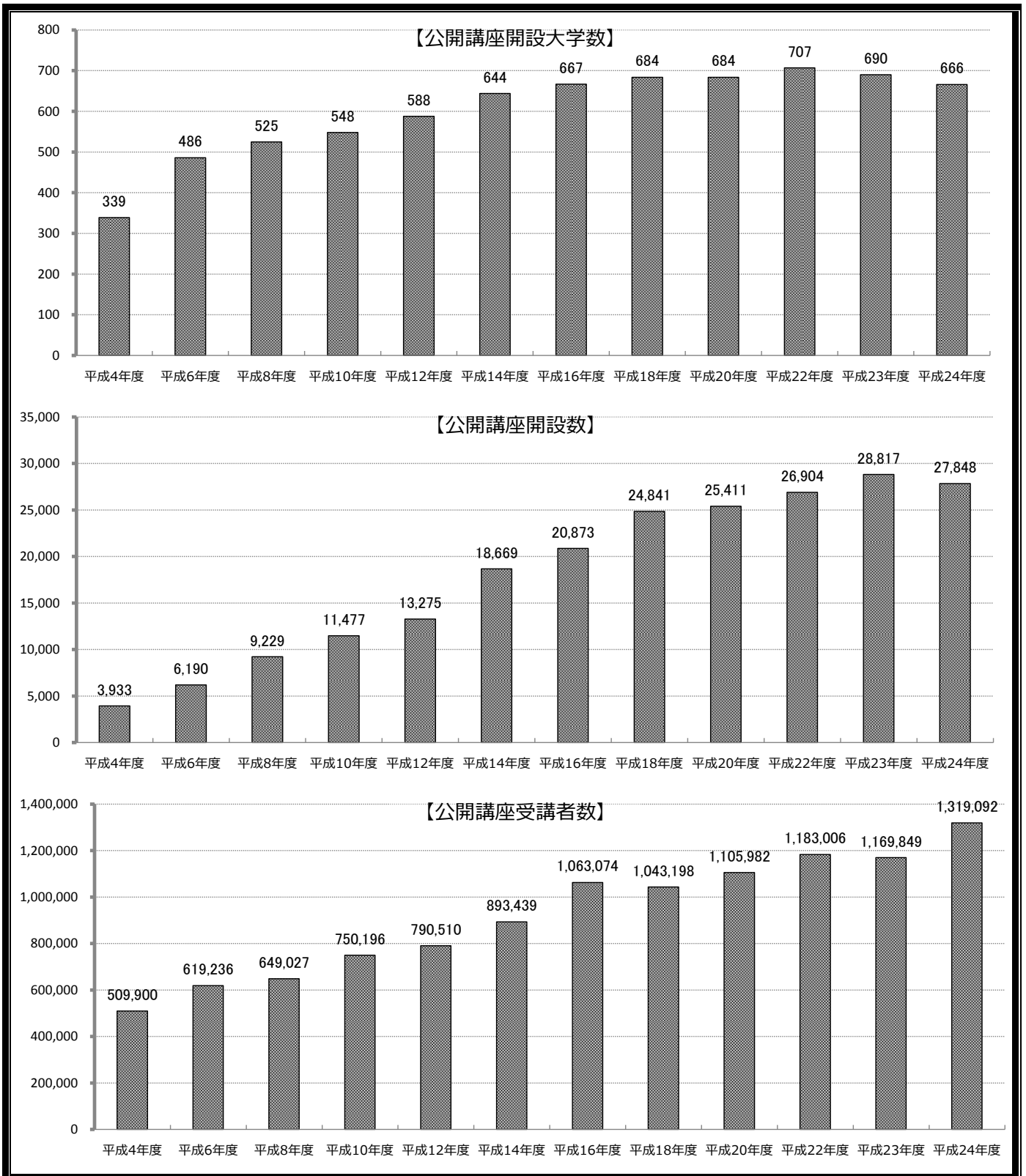
	全体	3種専門機関・組織とも同様	公開講座と地域連携の専門機関・組織が同様(産学連携のみ別)	公開講座と産学連携の専門機関・組織が同様(地域連携のみ別)	地域連携と産学連携の専門機関・組織が同様(公開講座のみ別)	3種専門機関・組織とも別
全体	118 ( 100.0%)	50 ( 42.4%)	16 ( 13.6%)	2 ( 1.7%)	22 ( 18.6%)	28 ( 23.7%)
国立大学	25 ( 100.0%)	7 ( 28.0%)	5 ( 20.0%)	0 ( 0.0%)	6 ( 24.0%)	7 ( 28.0%)
公立大学	19 ( 100.0%)	15 ( 78.9%)	2 ( 10.5%)	0 ( 0.0%)	1 ( 5.3%)	1 ( 5.3%)
私立大学	74 ( 100.0%)	28 ( 37.8%)	9 ( 12.2%)	2 ( 2.7%)	15 ( 20.3%)	20 ( 27.0%)
その他	0	0	0	0	0	0

※3種の専門機関・組織が全てある大学のみを集計



## 2 公開講座の実施状況

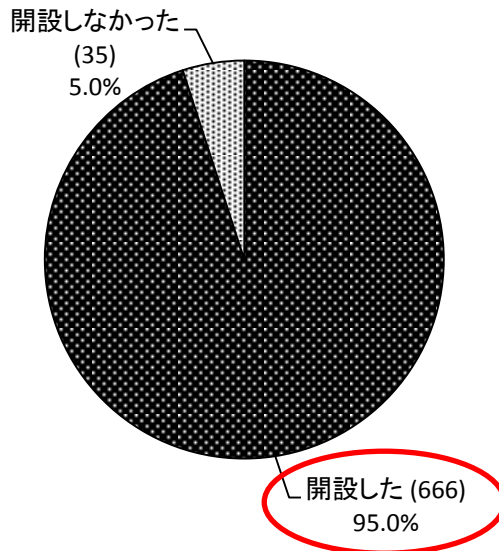
【公開講座開設状況の変遷】



(1) 公開講座の開設有無

公開講座の開設有無についてきいた。ほとんどの大学が「開設した」と回答している。

図表 20 公開講座の開設状況



【設置者別の回答状況】

公開講座の開設有無を設置者別にみた。設置者別に大きな傾向の差はないが、『国立大学』の「開設した」との回答割合が高い。

図表 21 設置者別 公開講座の開設状況

	全体	開設した	開設しなかった	無回答
全体	701 ( 100.0%)	666 ( 95.0%)	35 ( 5.0%)	0 ( 0.0%)
国立大学	83 ( 100.0%)	82 ( 98.8%)	1 ( 1.2%)	0 ( 0.0%)
公立大学	74 ( 100.0%)	70 ( 94.6%)	4 ( 5.4%)	0 ( 0.0%)
私立大学	539 ( 100.0%)	509 ( 94.4%)	30 ( 5.6%)	0 ( 0.0%)
その他	5 ( 100.0%)	5 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)

## (2)公開講座の講座数・受講者数

### ①講座数合計

公開講座の開設講座数についてきいた。平成 24 年度の大学全体で、合計：27,848 件、1 大学あたり平均：42.1 件の公開講座が実施されている。

図表 22 開設講座数（講座）

	全体	合計	平均
全体	662	27,848	42.1
国立大学	82	3,282	40.0
公立大学	70	1,967	28.1
私立大学	505	22,035	43.6
その他	5	564	112.8

※公開講座を「開設した」と回答した大学のうち、開設講座数の記入があった大学の回答を集計

### ②受講者数合計

公開講座の受講者数についてきいた。平成 24 年度の大学全体で、合計：1,319,092 人、1 大学あたり平均：2,023.1 人の受講者があった。

図表 23 受講者数（人）

	全体	合計	平均
全体	652	1,319,092	2,023.1
国立大学	82	196,773	2,399.7
公立大学	66	122,225	1,851.9
私立大学	499	972,932	1,949.8
その他	5	27,162	5,432.4

※公開講座を「開設した」と回答した大学のうち、受講者数の記入があった大学の回答を集計

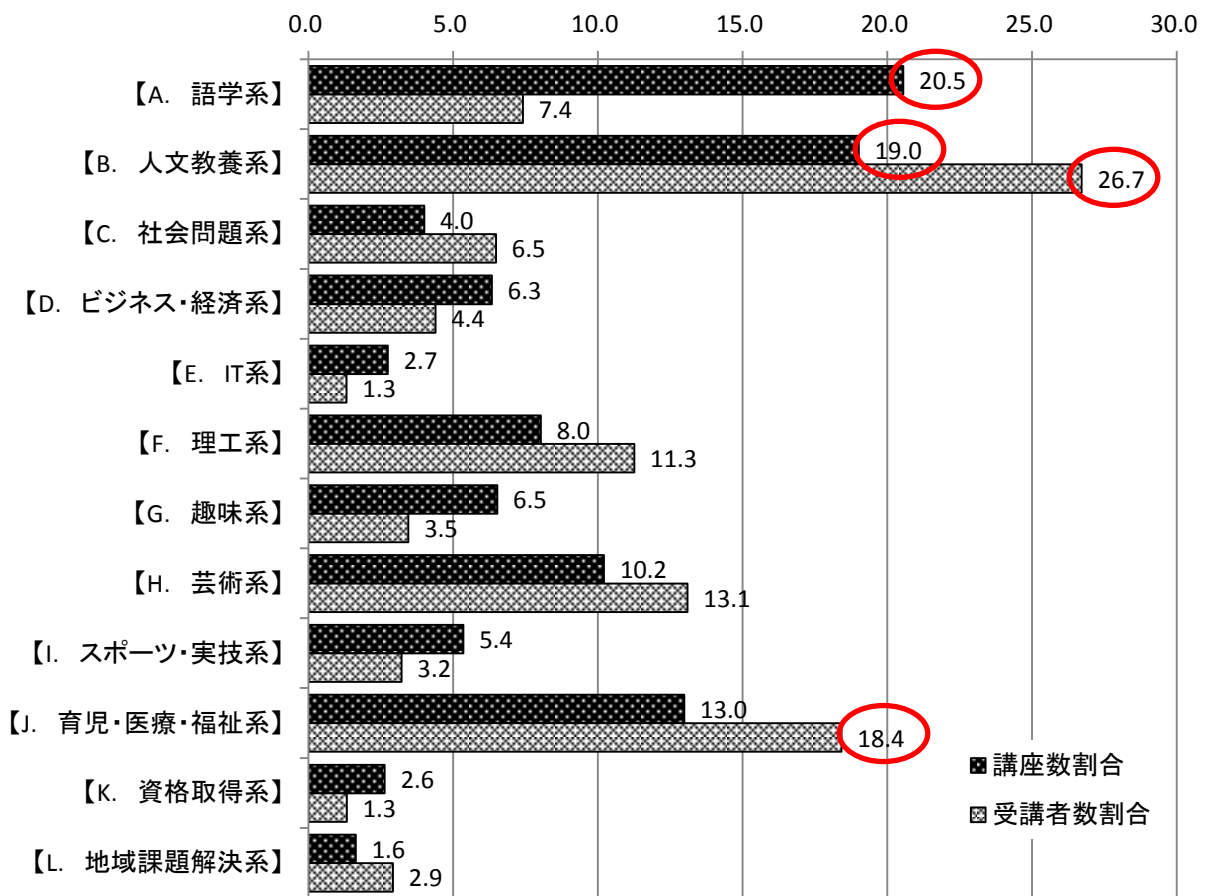
③カテゴリー別 講座数・受講者数の割合

講座数及び受講者数を公開講座内容のカテゴリー別（講座数総計及び受講者数総計に占めるカテゴリー毎の割合）にみた。

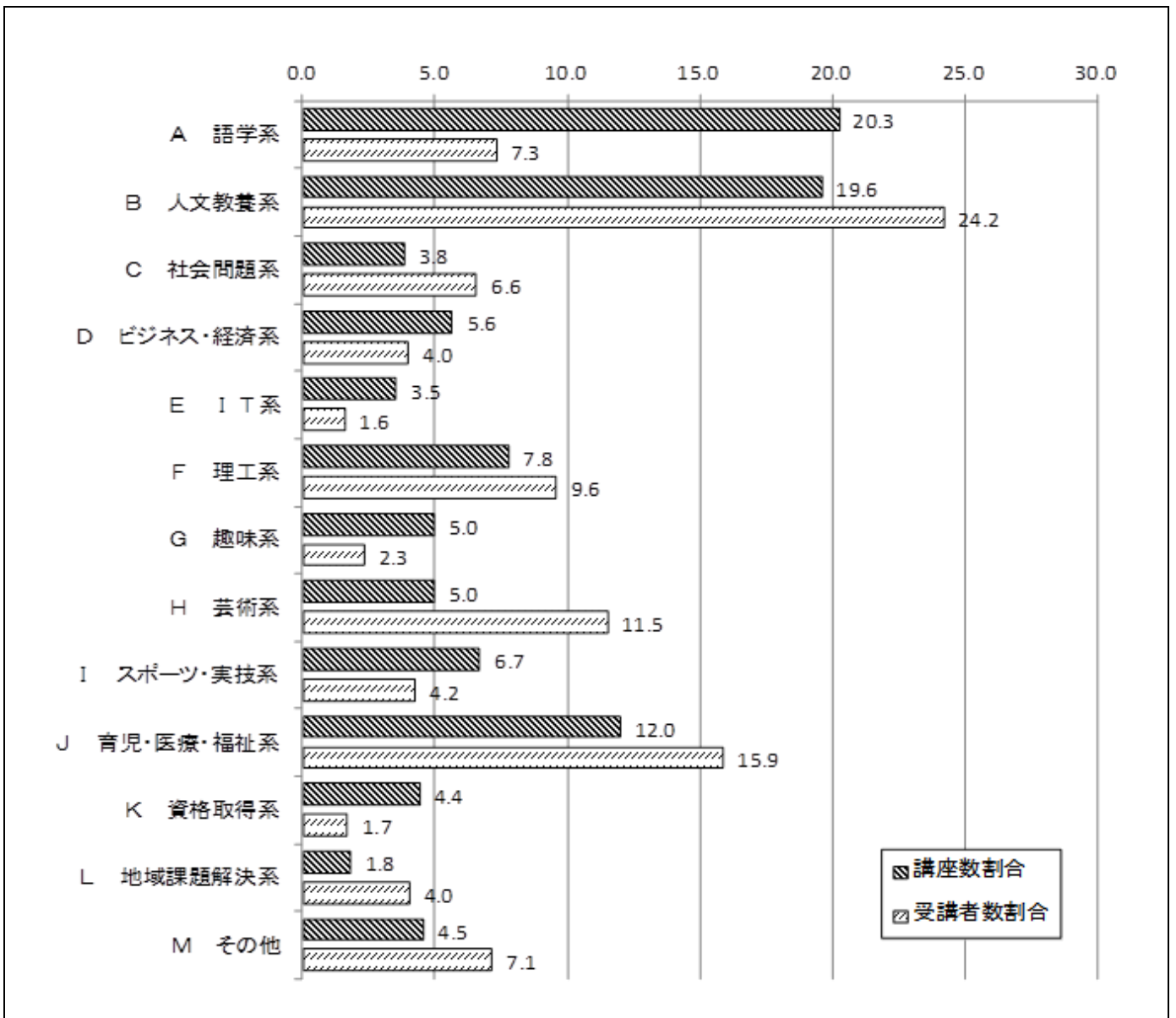
講座数については特に「語学系」、「人文教養系」の割合が高い。受講者数については「人文教養系」、「育児・医療・福祉系」の回答割合が高い。

図表 24 講座数総計及び受講者数総計に占めるカテゴリー毎の割合（％）

（講座数：N=572 受講者数：N=567）



図表 25 平成 23 年度 講座数総計及び受講者数総計に占めるカテゴリ毎の割合  
 (講座数 : N=595 受講者数 : N=592)



【設置者別の回答状況】

設置者別に公開講座内容の 카테고리毎に講座数をみた。多くのカテゴリーで『私立大学』の平均講座数が多い。「理工系」は『国立大学』、「地域課題解決系」は『国立大学』及び『公立大学』の平均講座数が多い。

図表 26 設置者別 カテゴリー別講座数

A. 語学系	全体	合計	平均	B. 人文教養系	全体	合計	平均
全体	572	4,814	8.4	全体	572	4,454	7.8
国立大学	77	244	3.2	国立大学	77	342	4.4
公立大学	61	181	3.0	公立大学	61	279	4.6
私立大学	431	4,389	10.2	私立大学	431	3,826	8.9
その他	3	0	0.0	その他	3	7	2.3
C. 社会問題系	全体	合計	平均	D. ビジネス・経済系	全体	合計	平均
全体	572	937	1.6	全体	572	1,485	2.6
国立大学	77	141	1.8	国立大学	77	68	0.9
公立大学	61	120	2.0	公立大学	61	104	1.7
私立大学	431	676	1.6	私立大学	431	1,312	3.0
その他	3	0	0.0	その他	3	1	0.3
E. IT系	全体	合計	平均	F. 理工系	全体	合計	平均
全体	572	643	1.1	全体	572	1,881	3.3
国立大学	77	94	1.2	国立大学	77	817	10.6
公立大学	61	61	1.0	公立大学	61	167	2.7
私立大学	431	486	1.1	私立大学	431	897	2.1
その他	3	2	0.7	その他	3	0	0.0
G. 趣味系	全体	合計	平均	H. 芸術系	全体	合計	平均
全体	572	1,528	2.7	全体	572	2,392	4.2
国立大学	77	54	0.7	国立大学	77	158	2.1
公立大学	61	48	0.8	公立大学	61	57	0.9
私立大学	431	1,426	3.3	私立大学	431	2,155	5.0
その他	3	0	0.0	その他	3	22	7.3
I. スポーツ・実技系	全体	合計	平均	J. 育児・医療・福祉系	全体	合計	平均
全体	572	1,254	2.2	全体	572	3,042	5.3
国立大学	77	135	1.8	国立大学	77	438	5.7
公立大学	61	41	0.7	公立大学	61	541	8.9
私立大学	431	1,078	2.5	私立大学	431	2,063	4.8
その他	3	0	0.0	その他	3	0	0.0
K. 資格取得系	全体	合計	平均	L. 地域課題解決系	全体	合計	平均
全体	572	618	1.1	全体	572	383	0.7
国立大学	77	35	0.5	国立大学	77	111	1.4
公立大学	61	17	0.3	公立大学	61	78	1.3
私立大学	431	562	1.3	私立大学	431	194	0.5
その他	3	4	1.3	その他	3	0	0.0

※公開講座を「開設した」と回答した大学のうち、カテゴリー別の講座数の記入があった大学の回答を集計

設置者別に公開講座内容の 카테고리毎に受講者数をみた。

図表 27 設置者別 カテゴリ別受講者数

A. 語学系	全体	合計	平均	B. 人文教養系	全体	合計	平均
全体	567	80,565	142.1	全体	567	290,573	512.5
国立大学	76	3,439	45.3	国立大学	76	19,337	254.4
公立大学	58	10,399	179.3	公立大学	58	21,855	376.8
私立大学	430	66,727	155.2	私立大学	430	248,472	577.8
その他	3	0	0.0	その他	3	909	303.0
C. 社会問題系	全体	合計	平均	D. ビジネス・経済系	全体	合計	平均
全体	567	70,471	124.3	全体	567	47,755	84.2
国立大学	76	10,816	142.3	国立大学	76	6,101	80.3
公立大学	58	6,839	117.9	公立大学	58	5,676	97.9
私立大学	430	52,816	122.8	私立大学	430	35,939	83.6
その他	3	0	0.0	その他	3	39	13.0
E. IT系	全体	合計	平均	F. 理工系	全体	合計	平均
全体	567	14,363	25.3	全体	567	122,434	215.9
国立大学	76	1,573	20.7	国立大学	76	56,623	745.0
公立大学	58	2,802	48.3	公立大学	58	8,951	154.3
私立大学	430	9,921	23.1	私立大学	430	56,860	132.2
その他	3	67	22.3	その他	3	0	0.0
G. 趣味系	全体	合計	平均	H. 芸術系	全体	合計	平均
全体	567	37,556	66.2	全体	567	142,473	251.3
国立大学	76	1,574	20.7	国立大学	76	3,514	46.2
公立大学	58	8,111	139.8	公立大学	58	4,867	83.9
私立大学	430	27,871	64.8	私立大学	430	133,784	311.1
その他	3	0	0.0	その他	3	308	102.7
I. スポーツ・実技系	全体	合計	平均	J. 育児・医療・福祉系	全体	合計	平均
全体	567	35,044	61.8	全体	567	200,336	353.3
国立大学	76	4,884	64.3	国立大学	76	44,692	588.1
公立大学	58	949	16.4	公立大学	58	35,831	617.8
私立大学	430	29,211	67.9	私立大学	430	119,813	278.6
その他	3	0	0.0	その他	3	0	0.0
K. 資格取得系	全体	合計	平均	L. 地域課題解決系	全体	合計	平均
全体	567	14,429	25.4	全体	567	31,757	56.0
国立大学	76	996	13.1	国立大学	76	7,881	103.7
公立大学	58	477	8.2	公立大学	58	5,458	94.1
私立大学	430	12,871	29.9	私立大学	430	18,418	42.8
その他	3	85	28.3	その他	3	0	0.0

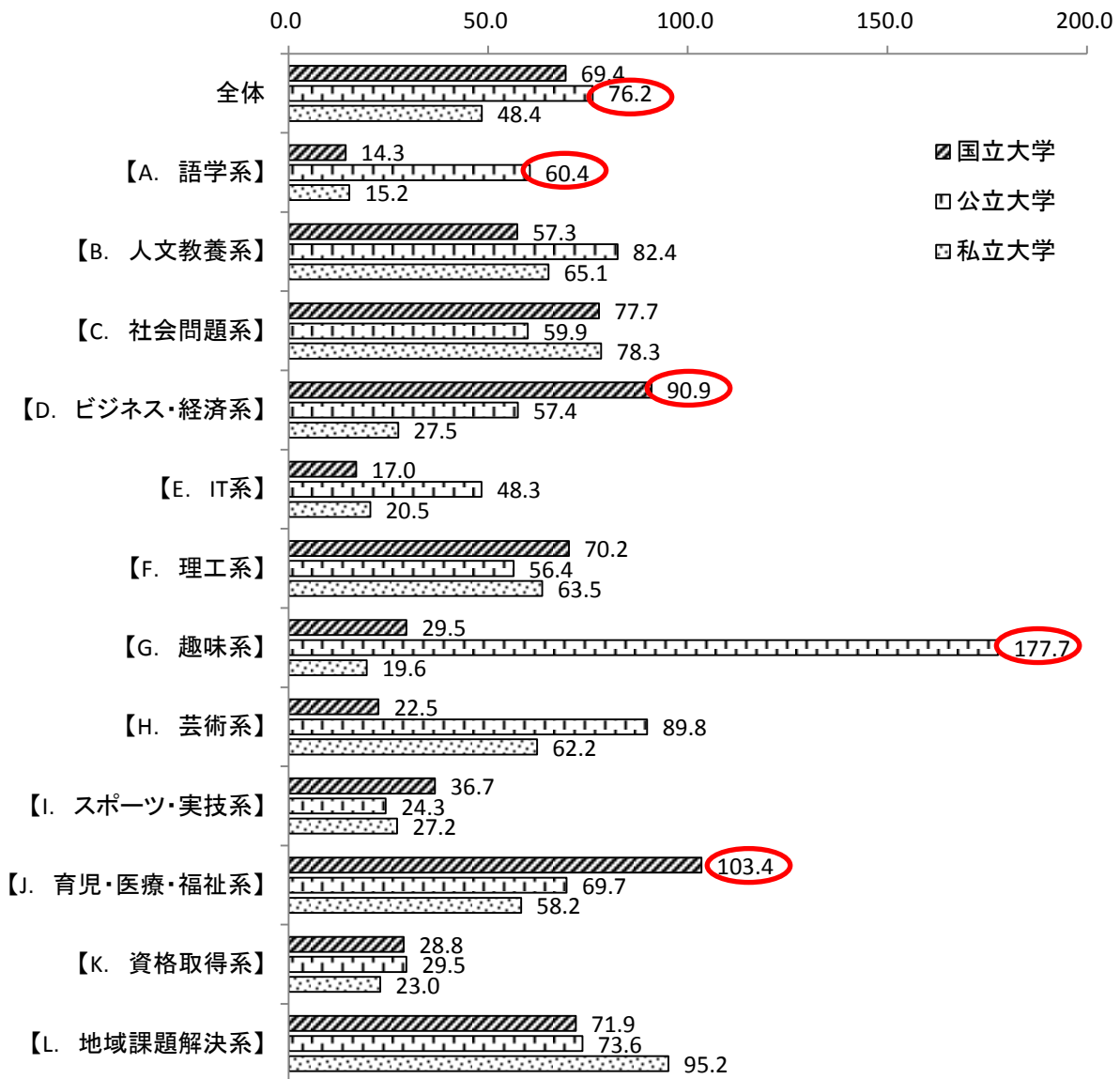
※公開講座を「開設した」と回答した大学のうち、カテゴリ別の受講者数の記入があった大学の回答を集計

④カテゴリー別 1 講座あたり受講者数

【設置者別の回答状況】

設置者別に公開講座内容のカテゴリー毎の1講座あたりの平均受講者数をみた。全体としては『公立大学』の1講座あたりの平均受講者数が多い。カテゴリー別にみると、「語学系」は『公立大学』、「ビジネス・経済系」は『国立大学』、「趣味系」は『公立大学』、「育児・医療・福祉系」は『国立大学』の1講座あたりの平均受講者数が多い。

図表 28 設置者別 公開講座内容のカテゴリー毎の1講座あたりの平均受講者数（人）

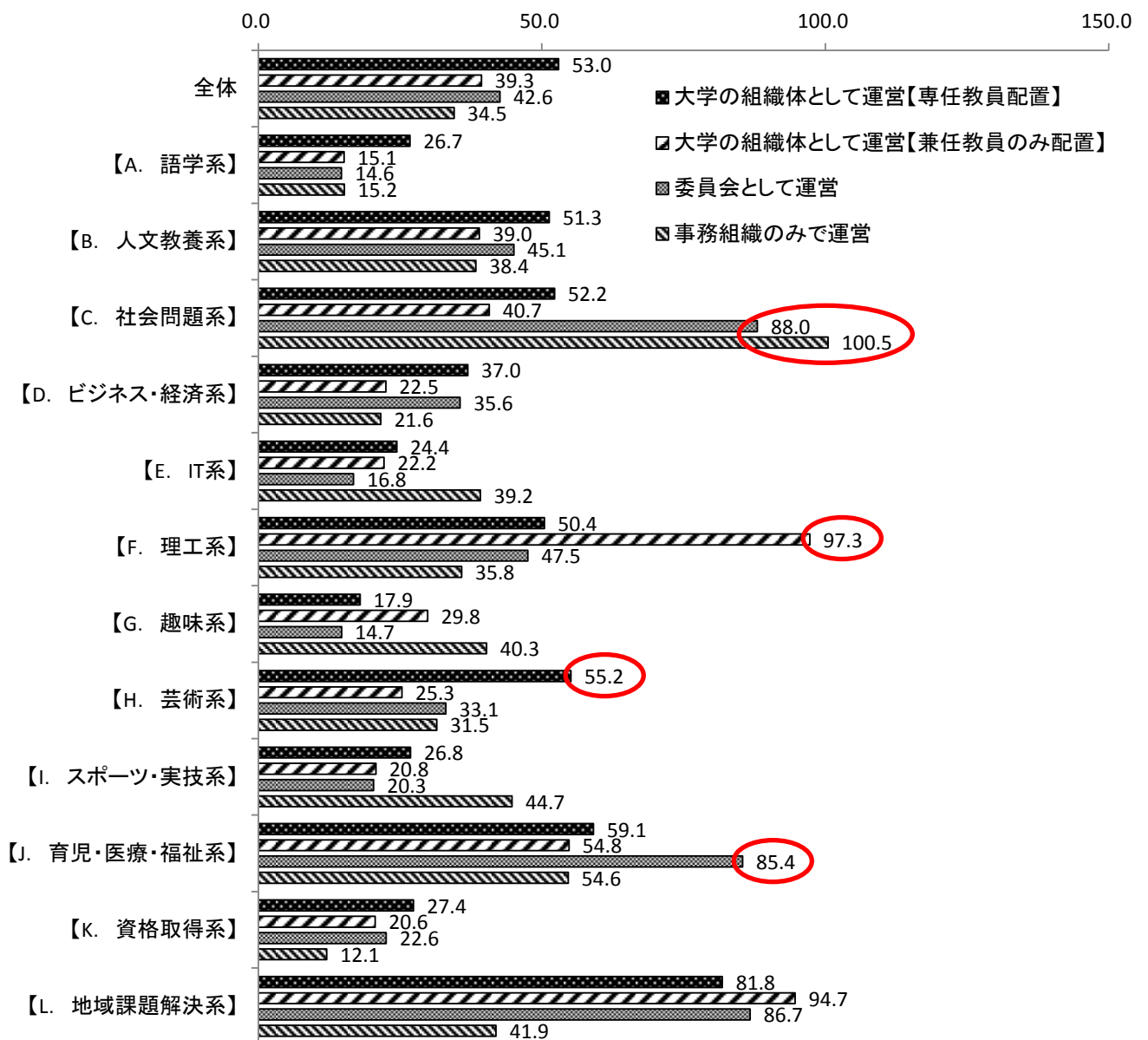




【公開講座に関する専門機関・組織の組織体の状況別の回答状況】

公開講座に関する専門機関・組織の組織体の状況別に公開講座内容のカテゴリー毎の1講座あたりの平均受講者数をみた。全体としては『大学の組織体として運営【専任教員配置】』の1講座あたりの平均受講者数が多い。カテゴリー別にみると、「社会問題系」は『委員会として運営』及び『事務組織のみで運営』、「理工系」は『大学の組織体として運営【兼任教員のみ配置】』、「芸術系」は『大学の組織体として運営【専任教員配置】』、「育児・医療・福祉系」は『委員会として運営』の1講座あたりの平均受講者数が多い。

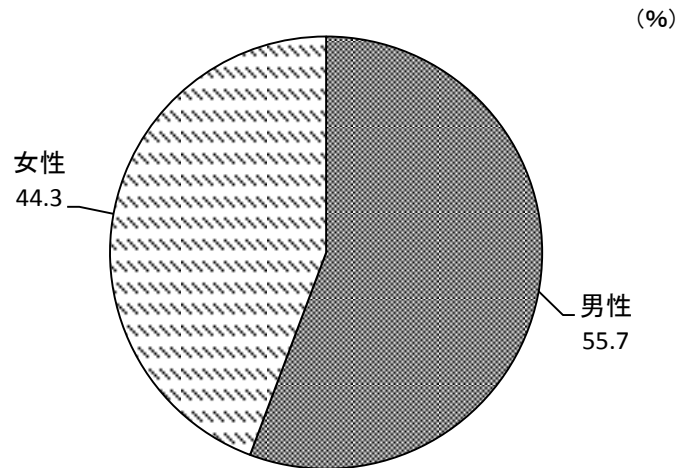
図表 29 公開講座に関する専門機関・組織の組織体の状況別  
公開講座内容のカテゴリー毎の1講座あたりの平均受講者数（人）



⑤地域課題解決系講座の受講者層

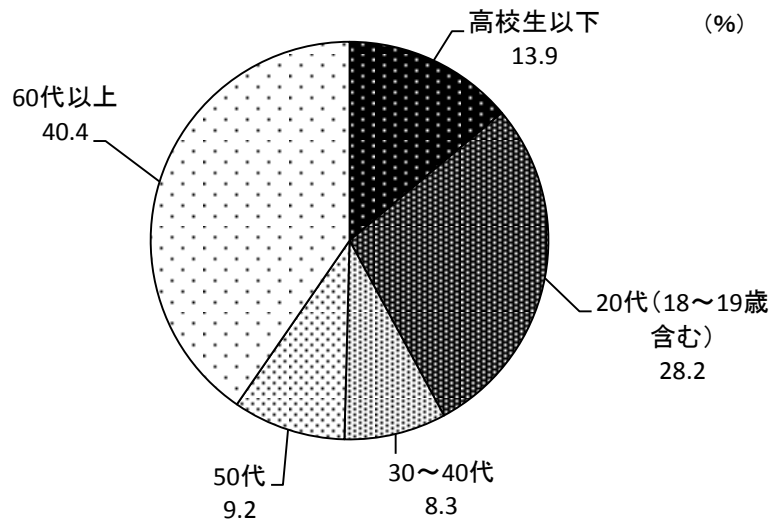
地域課題解決系講座の受講者層についてきいた。性別については若干ではあるが「男性」の割合が高い。年齢層については「60代以上」の割合が高かった。

図表 30 地域課題解決系講座の受講者層-性別 (N=97)



※地域課題解決系講座の受講者層-性別に記入のあった大学の回答を集計

図表 31 地域課題解決系講座の受講者層-年齢層 (N=98)

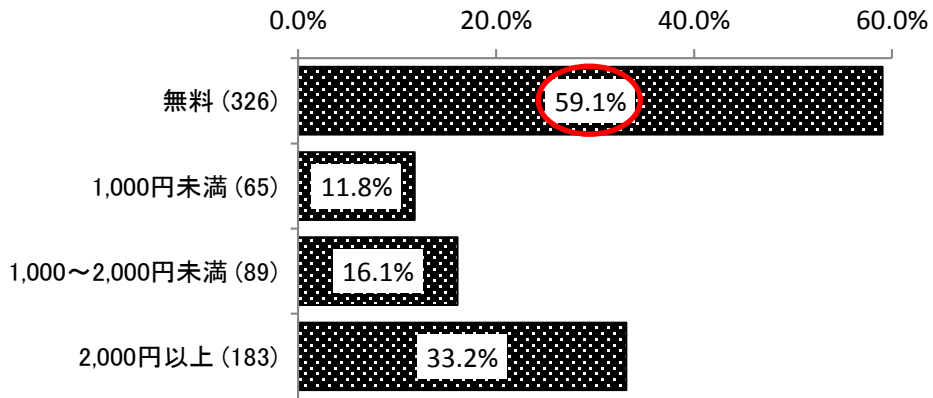


※地域課題解決系講座の受講者層-年齢層に記入のあった大学の回答を集計

⑥公開講座の受講料設定

公開講座の受講料設定についてきた。採用している受講料設定は「無料」の割合が高かった。

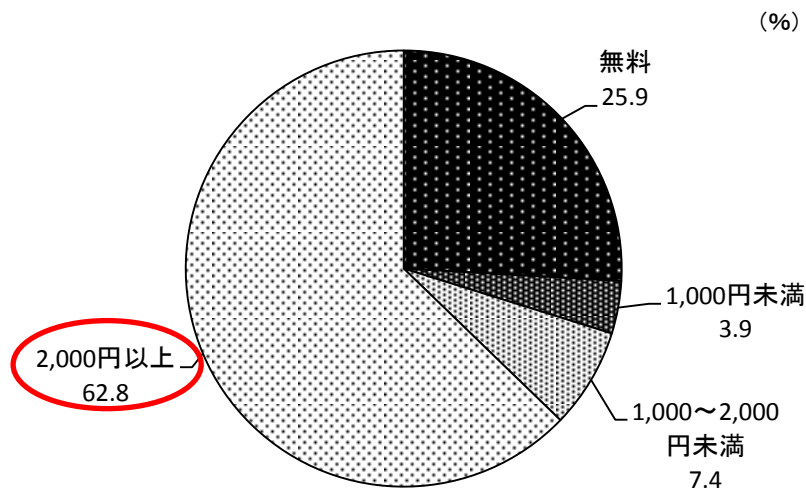
図表 32 採用している受講料設定（複数回答）



※受講料設定毎の開設講座数の割合ではない

公開講座の受講料設定別講座数の割合についてみた。開設講座数全体に占める割合としては「2,000 円以上」の割合が高かった。次いで「無料」の割合が高い。

図表 33 受講料設定別講座数の割合（N=532）



【設置者別の回答状況】

設置者別に採用している受講料設定をみた。「無料」については『公立大学』が設定している割合が高い。「1,000～2,000円未満」及び「2,000円以上」については『国立大学』が設定している割合が高い。

図表 34 設置者別 採用している受講料設定（複数回答）

	全体	無料	1,000円未満	1,000～2,000円未満	2,000円以上	無回答
全体	552 ( 1.48)	326 ( 59.1%)	65 ( 11.8%)	89 ( 16.1%)	183 ( 33.2%)	152 ( 27.5%)
国立大学	72 ( 1.76)	36 ( 50.0%)	11 ( 15.3%)	17 ( 23.6%)	40 ( 55.6%)	23 ( 31.9%)
公立大学	54 ( 1.50)	40 ( 74.1%)	6 ( 11.1%)	10 ( 18.5%)	16 ( 29.6%)	9 ( 16.7%)
私立大学	424 ( 1.43)	249 ( 58.7%)	48 ( 11.3%)	62 ( 14.6%)	127 ( 30.0%)	119 ( 28.1%)
その他	2 ( 1.00)	1 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 50.0%)

設置者別に受講料設定別講座数をみた。「無料」については『国立大学』、「1,000円未満」については『公立大学』、「1,000～2,000円未満」及び「2,000円以上」については『私立大学』の平均講座数が多かった。

図表 35 設置者別 受講料設定別講座数の件数

【無料】	全体	合計	平均	【1,000円未満】	全体	合計	平均
全体	532	6,266	11.8	全体	532	944	1.8
国立大学	72	1,479	20.5	国立大学	72	84	1.2
公立大学	52	812	15.6	公立大学	52	117	2.3
私立大学	406	3,967	9.8	私立大学	406	743	1.8
その他	2	8	4.0	その他	2	0	0.0

【1,000～2,000円未満】	全体	合計	平均	【2,000円以上】	全体	合計	平均
全体	532	1,795	3.4	全体	532	15,182	28.5
国立大学	72	91	1.3	国立大学	72	1,184	16.4
公立大学	52	121	2.3	公立大学	52	539	10.4
私立大学	406	1,581	3.9	私立大学	406	13,433	33.1
その他	2	2	1.0	その他	2	26	13.0

**【公開講座に関する専門機関・組織の組織体の状況別の回答状況】**

公開講座に関する専門機関・組織の組織体の状況別に採用している受講料設定をみた。いずれの受講料設定とも『大学の組織体として運営【兼任教員のみ配置】』が設定している割合が高い。

図表 36 公開講座に関する専門機関・組織の組織体の状況別 採用している受講料設定別（複数回答）

	全体	無料	1,000円未満	1,000～2,000円未満	2,000円以上	無回答
全体	402 ( 1.55)	241 ( 60.0%)	55 ( 13.7%)	74 ( 18.4%)	144 ( 35.8%)	109 ( 27.1%)
大学の組織体として運営【専任教員配置】	101 ( 1.61)	57 ( 56.4%)	13 ( 12.9%)	20 ( 19.8%)	42 ( 41.6%)	31 ( 30.7%)
大学の組織体として運営【兼任教員のみ配置】	75 ( 1.76)	50 ( 66.7%)	14 ( 18.7%)	21 ( 28.0%)	34 ( 45.3%)	13 ( 17.3%)
委員会として運営	145 ( 1.48)	95 ( 65.5%)	18 ( 12.4%)	22 ( 15.2%)	50 ( 34.5%)	30 ( 20.7%)
事務組織のみで運営	38 ( 1.45)	17 ( 44.7%)	5 ( 13.2%)	6 ( 15.8%)	11 ( 28.9%)	16 ( 42.1%)
その他	40 ( 1.38)	20 ( 50.0%)	5 ( 12.5%)	5 ( 12.5%)	7 ( 17.5%)	18 ( 45.0%)
無回答	3 ( 1.00)	2 ( 66.7%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 33.3%)

公開講座に関する専門機関・組織の組織体の状況別に受講料設定別講座数をみた。「無料」及び「1,000円未満」については『大学の組織体として運営【専任教員配置】』、「1,000～2,000円未満」については『事務組織のみで運営』、「2,000円以上」については『大学の組織体として運営【兼任教員のみ配置】』の平均講座数が多かった。

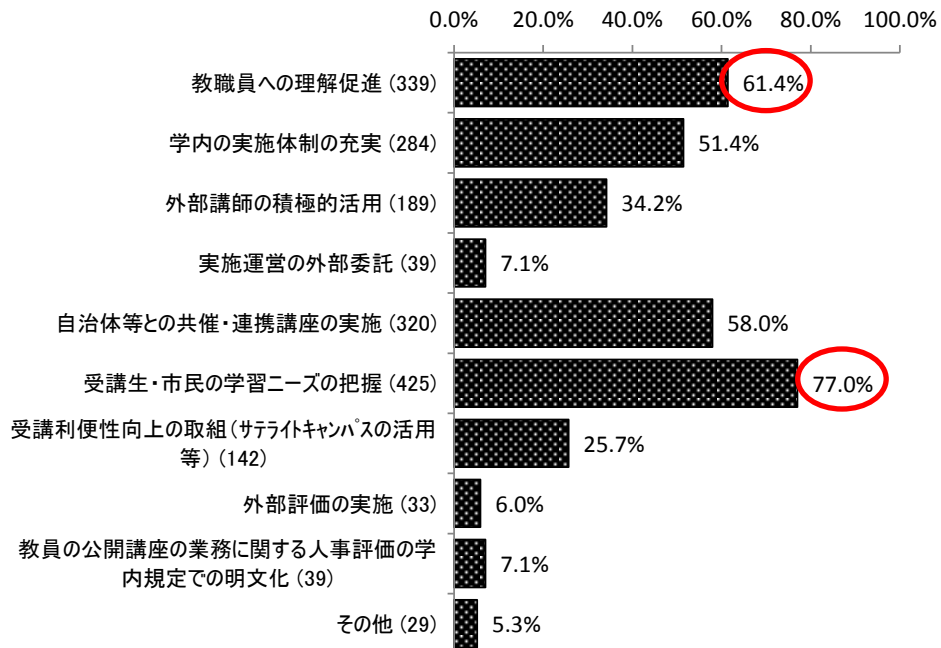
図表 37 公開講座に関する専門機関・組織の組織体の状況別 受講料設定別講座数の件数

【無料】	全体	合計	平均	【1,000円未満】	全体	合計	平均
全体	388	4,335	11.2	全体	388	843	2.2
大学の組織体として運営【専任教員配置】	98	1,378	14.1	大学の組織体として運営【専任教員配置】	98	375	3.8
大学の組織体として運営【兼任教員のみ配置】	72	785	10.9	大学の組織体として運営【兼任教員のみ配置】	72	173	2.4
委員会として運営	142	1,313	9.2	委員会として運営	142	153	1.1
事務組織のみで運営	36	354	9.8	事務組織のみで運営	36	39	1.1
【1,000～2,000円未満】	全体	合計	平均	【2,000円以上】	全体	合計	平均
全体	388	1,582	4.1	全体	388	13,080	33.7
大学の組織体として運営【専任教員配置】	98	411	4.2	大学の組織体として運営【専任教員配置】	98	2,657	27.1
大学の組織体として運営【兼任教員のみ配置】	72	255	3.5	大学の組織体として運営【兼任教員のみ配置】	72	4,099	56.9
委員会として運営	142	301	2.1	委員会として運営	142	3,360	23.7
事務組織のみで運営	36	431	12.0	事務組織のみで運営	36	1,637	45.5

⑥公開講座実施に際しての取り組み

公開講座実施に際しての取り組みについてきいた。「受講生・市民の学習ニーズの把握」、「教職員の理解促進」の回答割合が高かった。

図表 38 公開講座実施に際しての取り組み（複数回答）



【設置者別の回答状況】

設置者別に公開講座実施に際しての取り組みについてみた。特に『国立大学』の「受講生・市民の学習ニーズの把握」、「受講利便性向上の取組（サテライトキャンパスの活用等）」、「外部評価の実施」、「教員の公開講座の業務に関する人事評価の学内規定での明文化」の回答割合が高かった。

図表 39 設置者別 公開講座実施に際しての取り組み（複数回答）

	全体	教職員への理解促進	学内の実施体制の充実	外部講師の積極的活用	実施運営の外部委託	自治体等との共催・連携講座の実施	受講生・市民の学習ニーズの把握	受講利便性向上の取組（サテライトキャンパスの活用等）	外部評価の実施	教員の公開講座の業務に関する人事評価の学内規定での明文化	その他	無回答
全体	552 ( 3.34)	339 ( 61.4%)	284 ( 51.4%)	189 ( 34.2%)	39 ( 7.1%)	320 ( 58.0%)	425 ( 77.0%)	142 ( 25.7%)	33 ( 6.0%)	39 ( 7.1%)	29 ( 5.3%)	3 ( 0.5%)
国立大学	72 ( 3.93)	48 ( 66.7%)	43 ( 59.7%)	21 ( 29.2%)	4 ( 5.6%)	41 ( 56.9%)	63 ( 87.5%)	36 ( 50.0%)	8 ( 11.1%)	14 ( 19.4%)	4 ( 5.6%)	1 ( 1.4%)
公立大学	54 ( 3.11)	28 ( 51.9%)	20 ( 37.0%)	20 ( 37.0%)	2 ( 3.7%)	29 ( 53.7%)	47 ( 87.0%)	12 ( 22.2%)	2 ( 3.7%)	7 ( 13.0%)	1 ( 1.9%)	0 ( 0.0%)
私立大学	424 ( 3.26)	261 ( 61.6%)	220 ( 51.9%)	147 ( 34.7%)	32 ( 7.5%)	249 ( 58.7%)	314 ( 74.1%)	93 ( 21.9%)	22 ( 5.2%)	18 ( 4.2%)	24 ( 5.7%)	2 ( 0.5%)
その他	2 ( 4.50)	2 ( 100.0%)	1 ( 50.0%)	1 ( 50.0%)	1 ( 50.0%)	1 ( 50.0%)	1 ( 50.0%)	1 ( 50.0%)	1 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)

【公開講座に関する専門機関・組織の組織体の状況別の回答状況】

公開講座に関する専門機関・組織の組織体の状況別に公開講座実施に際しての取り組みについてみた。特に『大学の組織体として運営【専任教員配置】』の「教職員への理解促進」、「学内の実施体制の充実」、「自治体等との共催・連携講座の実施」の回答割合が高かった。

図表 40 公開講座に関する専門機関・組織の組織体の状況別  
公開講座実施に際しての取り組み（複数回答）

	全体	教職員への理解促進	学内の実施体制の充実	外部講師の積極的活用	実施運営の外部委託	自治体等との共催・連携講座の実施	受講生・市民の学習ニーズの把握	受講利便性向上の取組（サテライトキャンパスの活用等）	外部評価の実施	教員の公開講座の業務に関する人事評価の学内規定での明文化	その他	無回答
全体	402 ( 3.57)	265 ( 65.9%)	225 ( 56.0%)	143 ( 35.6%)	30 ( 7.5%)	243 ( 60.4%)	333 ( 82.8%)	110 ( 27.4%)	32 ( 8.0%)	31 ( 7.7%)	21 ( 5.2%)	2 ( 0.5%)
大学の組織体として運営【専任教員配置】	101 ( 4.11)	74 ( 73.3%)	68 ( 67.3%)	41 ( 40.6%)	12 ( 11.9%)	68 ( 67.3%)	84 ( 83.2%)	35 ( 34.7%)	15 ( 14.9%)	11 ( 10.9%)	6 ( 5.9%)	1 ( 1.0%)
大学の組織体として運営【兼任教員のみ配置】	75 ( 3.55)	47 ( 62.7%)	38 ( 50.7%)	29 ( 38.7%)	6 ( 8.0%)	47 ( 62.7%)	64 ( 85.3%)	23 ( 30.7%)	5 ( 6.7%)	6 ( 8.0%)	1 ( 1.3%)	0 ( 0.0%)
委員会として運営	145 ( 3.28)	93 ( 64.1%)	80 ( 55.2%)	46 ( 31.7%)	6 ( 4.1%)	78 ( 53.8%)	117 ( 80.7%)	27 ( 18.6%)	8 ( 5.5%)	10 ( 6.9%)	10 ( 6.9%)	1 ( 0.7%)
事務組織のみで運営	38 ( 3.37)	25 ( 65.8%)	17 ( 44.7%)	12 ( 31.6%)	3 ( 7.9%)	22 ( 57.9%)	30 ( 78.9%)	14 ( 36.8%)	1 ( 2.6%)	1 ( 2.6%)	3 ( 7.9%)	0 ( 0.0%)
その他	40 ( 3.65)	26 ( 65.0%)	22 ( 55.0%)	14 ( 35.0%)	3 ( 7.5%)	26 ( 65.0%)	37 ( 92.5%)	11 ( 27.5%)	3 ( 7.5%)	3 ( 7.5%)	1 ( 2.5%)	0 ( 0.0%)
無回答	3 ( 1.33)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 33.3%)	0 ( 0.0%)	2 ( 66.7%)	1 ( 33.3%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)

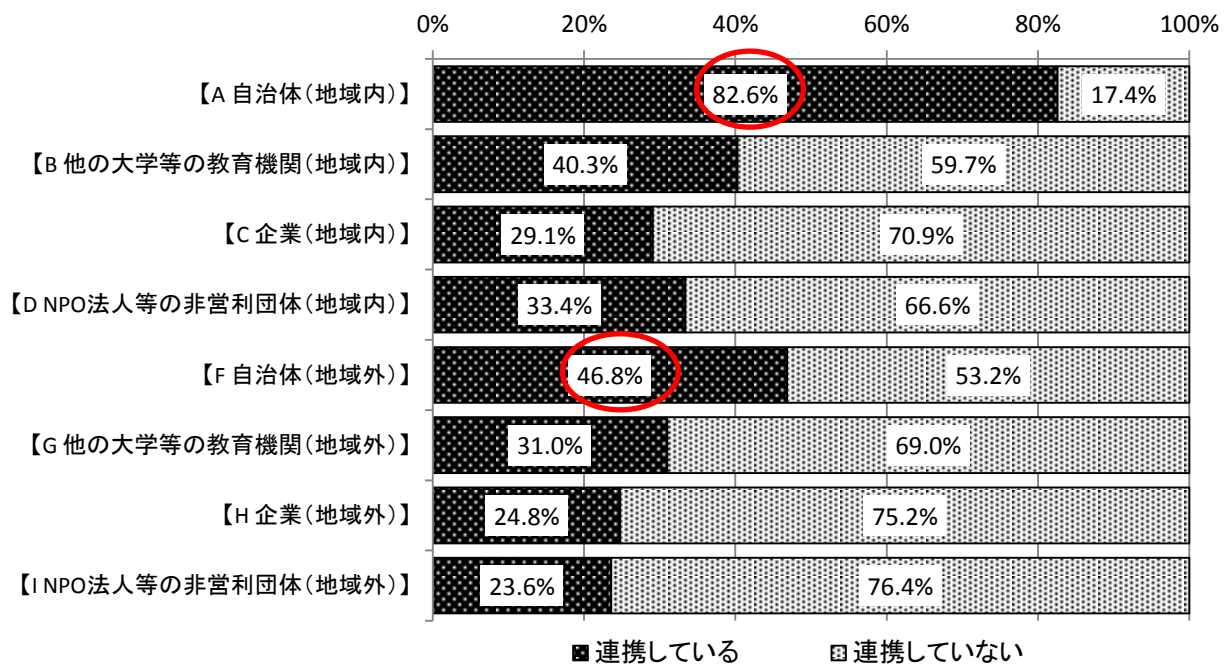
### 3 地域連携の状況

#### (1) 連携状況

##### ① 連携有無

地域連携の有無についてきいた。「自治体（地域内）」、「自治体（地域外）」と連携している割合が高い。

図表 41 連携先別の連携有無（N=261）

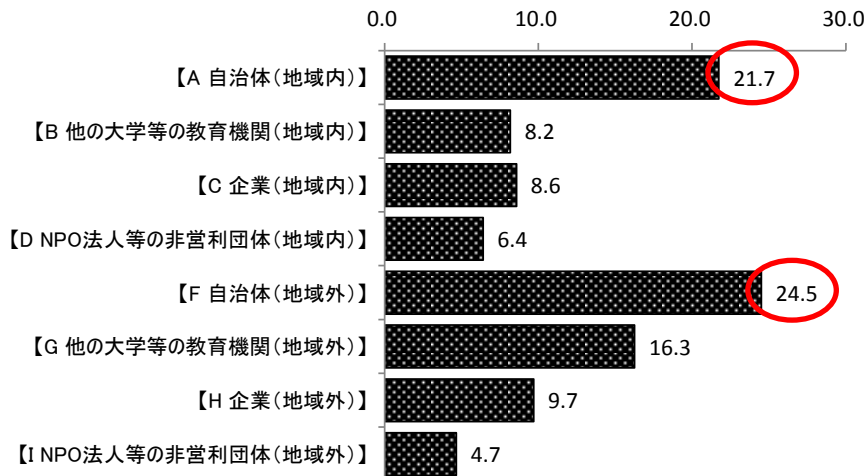




②連携件数

地域連携の連携先件数の全体に占める割合についてみた。連携有無と同様、連携件数も「A自治体（地域内）」、「F自治体（地域外）」の割合が高い。

図表 42 連携先別連携件数の全体に占める割合（%）（N=527）



【設置者別の回答状況】

設置者別に地域連携の連携先件数の全体に占める割合についてみた。多くの連携先について『国立大学』の平均連携件数が多い。

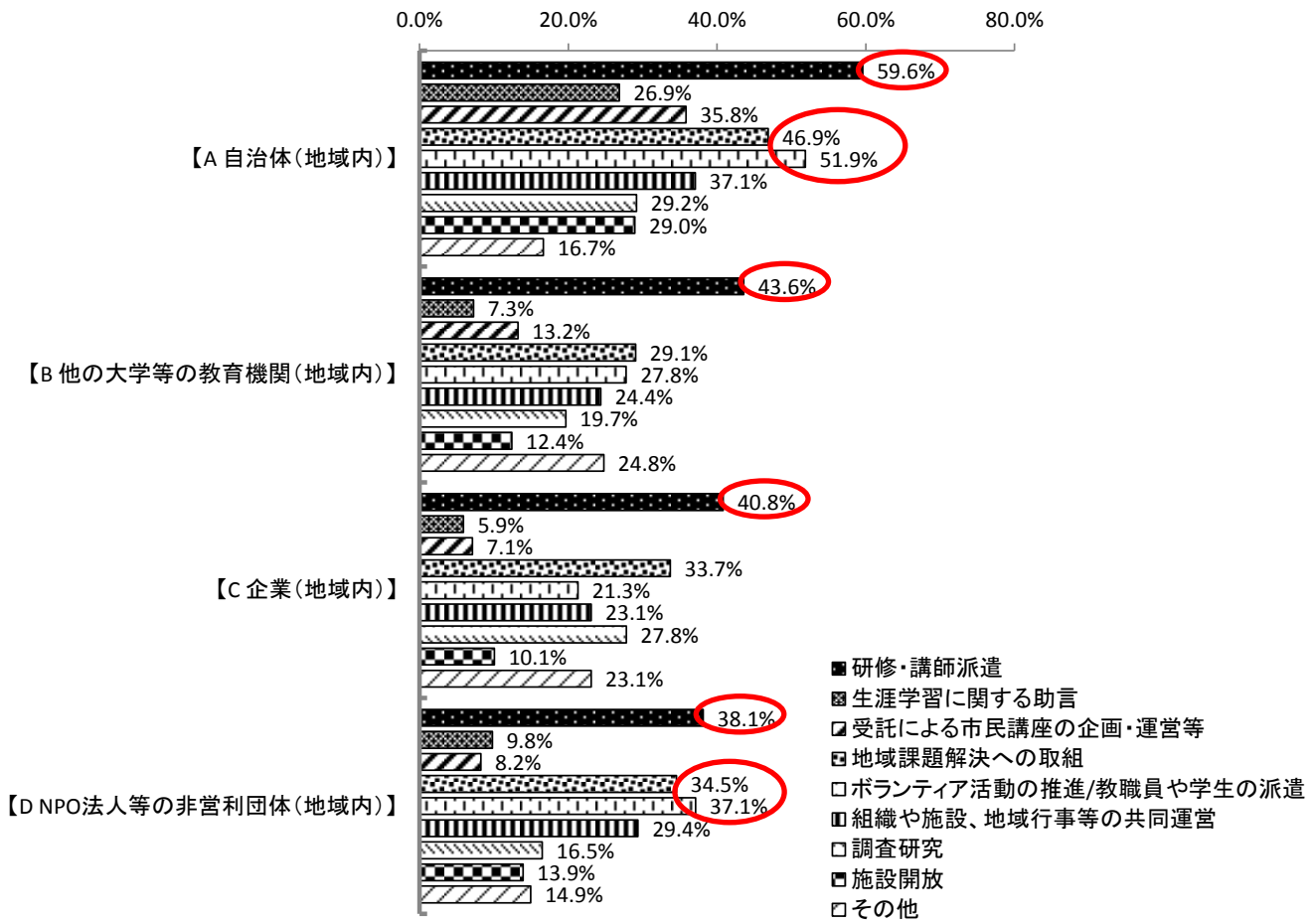
図表 43 設置者別 連携先別の連携件数

【A 自治体(地域内)】	全体	合計	平均	【B 他の大学等の教育機関(地域内)】	全体	合計	平均
全体	527	2,259	4.3	全体	527	850	1.6
国立大学	70	603	8.6	国立大学	70	261	3.7
公立大学	56	388	6.9	公立大学	56	78	1.4
私立大学	399	1,221	3.1	私立大学	399	510	1.3
その他	2	47	23.5	その他	2	1	0.5
【C 企業(地域内)】	全体	合計	平均	【D NPO法人等の非営利団体(地域内)】	全体	合計	平均
全体	526	891	1.7	全体	527	665	1.3
国立大学	70	437	6.2	国立大学	70	172	2.5
公立大学	56	79	1.4	公立大学	56	92	1.6
私立大学	398	375	0.9	私立大学	399	401	1.0
その他	2	0	0.0	その他	2	0	0.0
【F 自治体(地域外)】	全体	合計	平均	【G 他の大学等の教育機関(地域外)】	全体	合計	平均
全体	527	2,545	4.8	全体	527	1,689	3.2
国立大学	70	857	12.2	国立大学	70	521	7.4
公立大学	56	398	7.1	公立大学	56	193	3.4
私立大学	399	1,283	3.2	私立大学	399	974	2.4
その他	2	7	3.5	その他	2	1	0.5
【H 企業(地域外)】	全体	合計	平均	【I NPO法人等の非営利団体(地域外)】	全体	合計	平均
全体	527	1,008	1.9	全体	526	485	0.9
国立大学	70	385	5.5	国立大学	70	165	2.4
公立大学	56	288	5.1	公立大学	56	59	1.1
私立大学	399	328	0.8	私立大学	398	258	0.6
その他	2	7	3.5	その他	2	3	1.5

③連携内容

地域内の連携先別の連携内容についてきいた。いずれの連携先とも「研修・講師派遣」の回答割合が高い。『A 自治体（地域内）』、『D NPO法人等の非営利団体（地域内）』については「地域課題解決への取り組み」、「ボランティア活動の推進/教職員や学生の派遣」の割合も高かった。

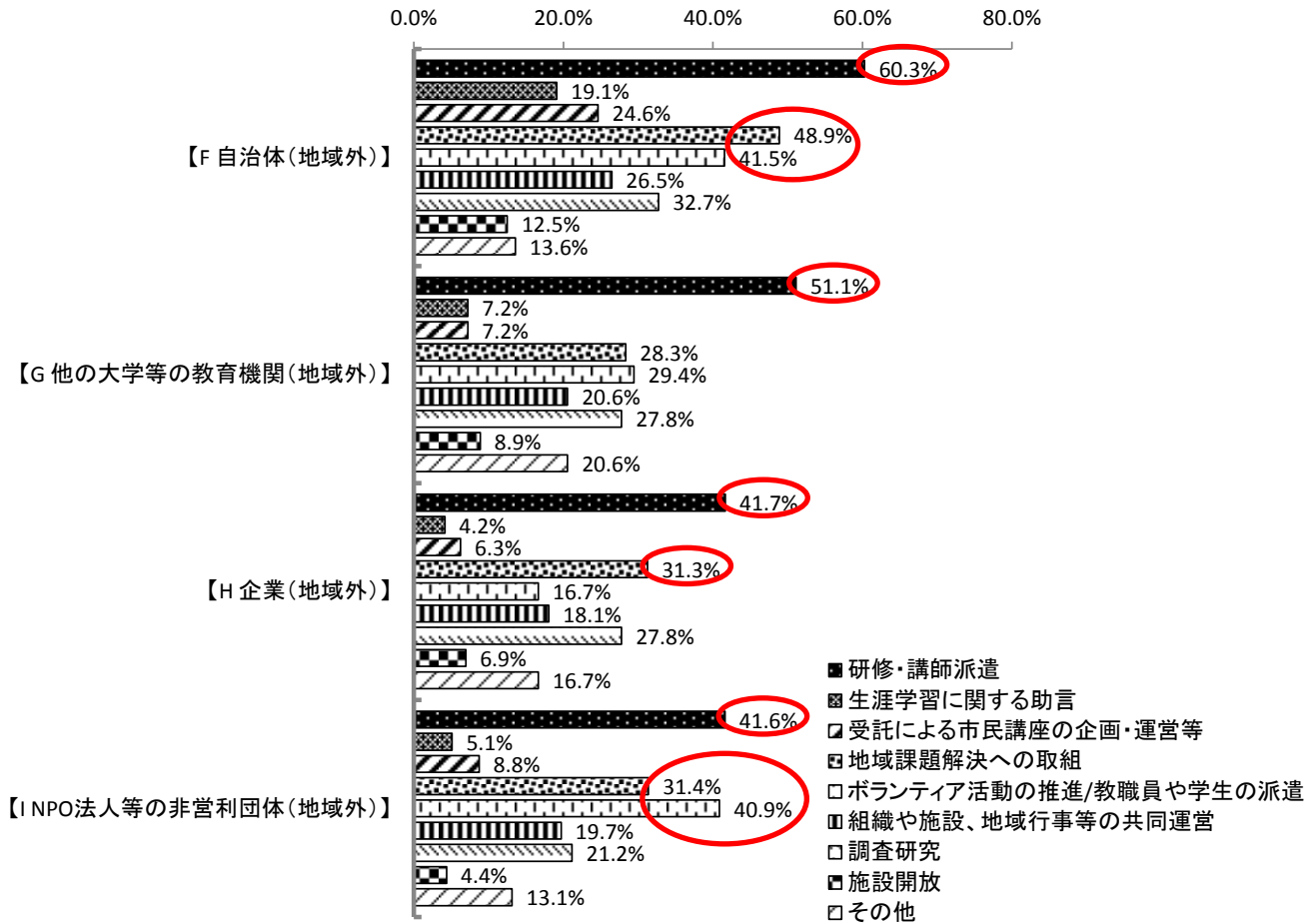
図表 44 連携先別の連携内容（地域内）（複数回答）



※【4 地域課題解決への取組】：地元商店街の活性化などの地域（自治体等）の要望/ニーズに応じた取組で、学生の正規授業や課外活動における連携も含まれます

地域外の連携先別の連携内容についてきいた。いずれの連携先とも「研修・講師派遣」の回答割合が高い。地域内と同様、『A自治体（地域外）』、『D NPO法人等の非営利団体（地域外）』については「地域課題解決への取り組み」、「ボランティア活動の推進/教職員や学生の派遣」の割合も高かった。

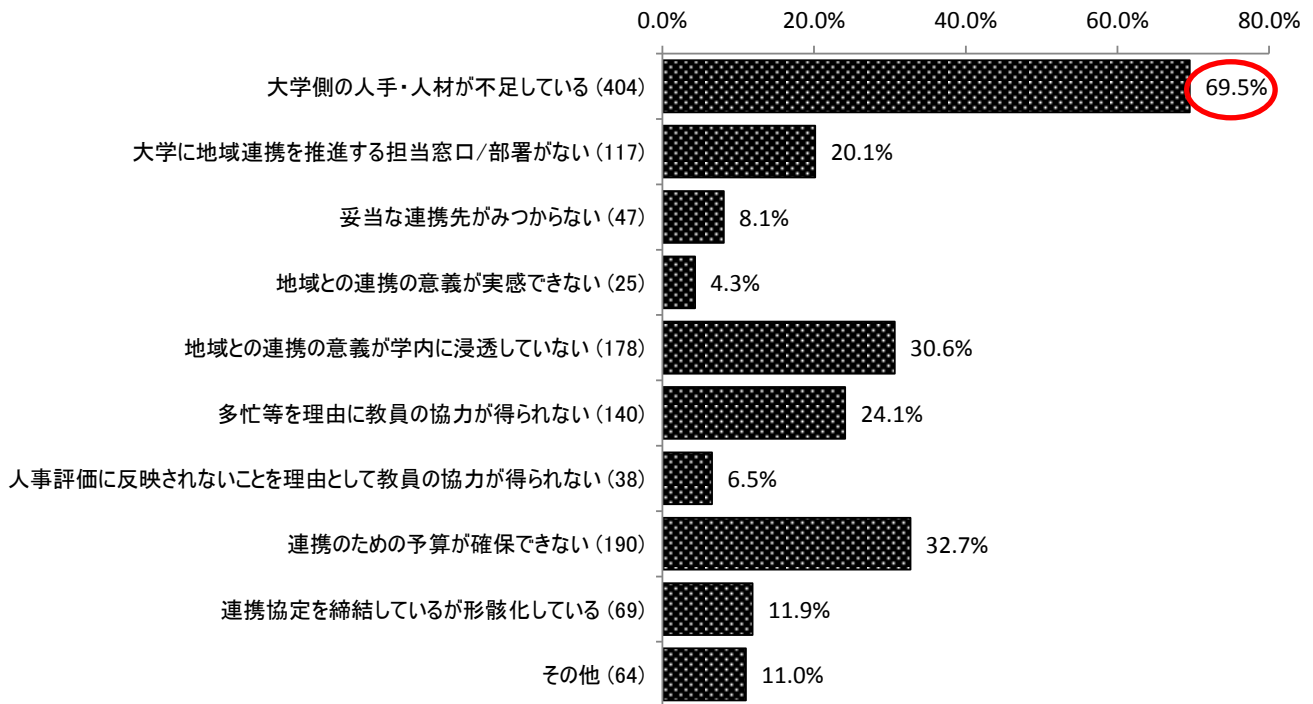
図表 45 連携先別の連携内容（地域外）（複数回答）



**(2)連携の際の課題**

地域連携の際の課題についてきいた。特に「大学側の人手・人材が不足している」との回答割合が突出して高い。この他、「大学に地域連携を推進する担当窓口/部署がない」、「地域との連携の意義が学内に浸透していない」、「多忙等を理由に教員の協力が得られない」、「連携のための予算が確保できない」との回答割合も高かった。

図表 46 連携の際の課題（複数回答）



【設置者別の回答状況】

設置者別に地域連携の際の課題についてみた。多くの項目で『国立大学』の回答割合が高い。ただし、これは、上述の設置者別「実際に取り組んでいる項目」でみたように、国立大学が取り組んでいる項目が多い為、課題が発生する割合も高くなっているものと考えられる。

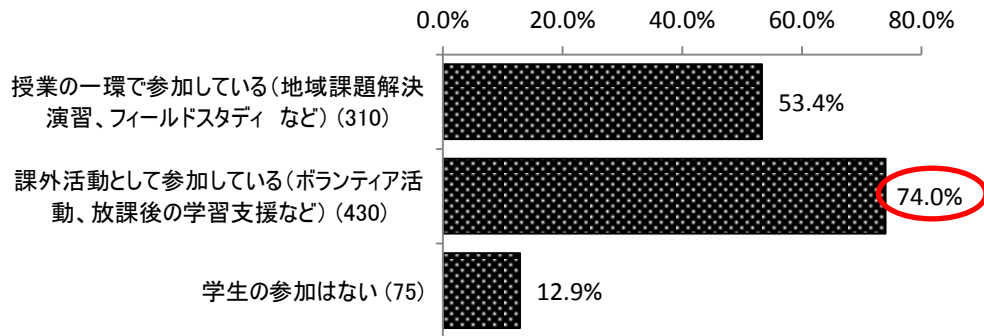
図表 47 設置者別 連携の際の課題（複数回答）

	全体	大学側の 人手・人材が不足 している	大学に地 域連携を 推進する 担当窓口 /部署が ない	妥当な連 携先がみ つからな い	地域との 連携の意 義が実感 できない	地域との 連携の意 義が学内 に浸透し ていない	多忙等を 理由に教 員の協力 が得られ ない	人事評価 に反映さ れないこ とを理由 として教 員の協力 が得られ ない	連携のた めの予算 が確保で きない	連携協定 を締結し ているが 形骸化し ている	その他	無回答
全体	581 ( 2.27)	404 ( 69.5%)	117 ( 20.1%)	47 ( 8.1%)	25 ( 4.3%)	178 ( 30.6%)	140 ( 24.1%)	38 ( 6.5%)	190 ( 32.7%)	69 ( 11.9%)	64 ( 11.0%)	46 ( 7.9%)
国立大学	73 ( 3.05)	55 ( 75.3%)	6 ( 8.2%)	6 ( 8.2%)	5 ( 6.8%)	34 ( 46.6%)	34 ( 46.6%)	16 ( 21.9%)	40 ( 54.8%)	11 ( 15.1%)	11 ( 15.1%)	5 ( 6.8%)
公立大学	56 ( 1.91)	41 ( 73.2%)	4 ( 7.1%)	1 ( 1.8%)	1 ( 1.8%)	11 ( 19.6%)	14 ( 25.0%)	1 ( 1.8%)	14 ( 25.0%)	12 ( 21.4%)	6 ( 10.7%)	2 ( 3.6%)
私立大学	450 ( 2.19)	307 ( 68.2%)	107 ( 23.8%)	40 ( 8.9%)	19 ( 4.2%)	133 ( 29.6%)	92 ( 20.4%)	21 ( 4.7%)	135 ( 30.0%)	46 ( 10.2%)	46 ( 10.2%)	39 ( 8.7%)
その他	2 ( 1.50)	1 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)

**(3) 学生の参加状況**

地域連携の際の学生の参加状況についてきいた。「課外活動として参加している」との回答割合が高い。「授業の一環で参加している」との回答も半数程度あった。

図表 48 学生の参加状況（複数回答）



**【設置者別の回答状況】**

設置者別に地域連携の際の学生の参加状況についてみた。「授業の一環で参加している」、「課外活動として参加している」とともに『国立大学』の回答割合が高かった。

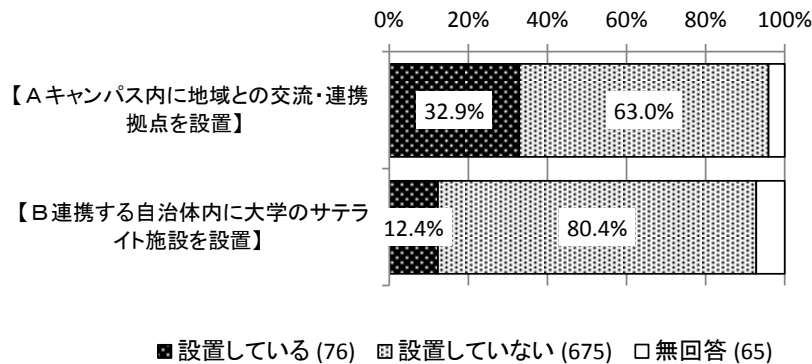
図表 49 設置者別 学生の参加状況（複数回答）

	全体	授業の一環で参加している（地域課題解決演習、フィールドスタディ など）	課外活動として参加している（ボランティア活動、放課後の学習支援など）	学生の参加はない	不明	無回答
全体	581 ( 1.51)	310 ( 53.4%)	430 ( 74.0%)	75 ( 12.9%)	26 ( 4.5%)	37 ( 6.4%)
国立大学	73 ( 1.77)	46 ( 63.0%)	60 ( 82.2%)	13 ( 17.8%)	8 ( 11.0%)	2 ( 2.7%)
公立大学	56 ( 1.43)	30 ( 53.6%)	38 ( 67.9%)	6 ( 10.7%)	4 ( 7.1%)	2 ( 3.6%)
私立大学	450 ( 1.48)	233 ( 51.8%)	331 ( 73.6%)	55 ( 12.2%)	14 ( 3.1%)	33 ( 7.3%)
その他	2 ( 1.50)	1 ( 50.0%)	1 ( 50.0%)	1 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)

**(4) 地域連携に資する施設の設置状況**

地域連携に資する施設の設置状況についてきた。【Aキャンパス内に地域との交流・連携拠点を設置】については「設置している」との回答割合は約 33%、【B連携する自治体内に大学のサテライト施設を設置】については「設置している」との回答割合は約 12%であった。

図表 50 地域連携に資する施設の設置状況



**【設置者別の回答状況】**

設置者別に地域連携に資する施設の設置状況についてみた。【Aキャンパス内に地域との交流・連携拠点を設置】については、『国立大学』及び『公立大学』の「設置している」との回答割合が高い。【B連携する自治体内に大学のサテライト施設を設置】については、『国立大学』の「設置している」との回答割合が高い。

図表 51 設置者別 地域連携に資する施設の設置状況【Aキャンパス内に地域との交流・連携拠点を設置】

	全体	設置している	設置していない	無回答
全体	581 ( 100.0%)	191 ( 32.9%)	366 ( 63.0%)	24 ( 4.1%)
国立大学	73 ( 100.0%)	39 ( 53.4%)	32 ( 43.8%)	2 ( 2.7%)
公立大学	56 ( 100.0%)	28 ( 50.0%)	24 ( 42.9%)	4 ( 7.1%)
私立大学	450 ( 100.0%)	124 ( 27.6%)	308 ( 68.4%)	18 ( 4.0%)
その他	2 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)

図表 52 設置者別 地域連携に資する施設の設置状況【B連携する自治体内に大学のサテライト施設を設置】

	全体	設置している	設置していない	無回答
全体	581 ( 100.0%)	72 ( 12.4%)	467 ( 80.4%)	42 ( 7.2%)
国立大学	73 ( 100.0%)	30 ( 41.1%)	39 ( 53.4%)	4 ( 5.5%)
公立大学	56 ( 100.0%)	7 ( 12.5%)	43 ( 76.8%)	6 ( 10.7%)
私立大学	450 ( 100.0%)	35 ( 7.8%)	383 ( 85.1%)	32 ( 7.1%)
その他	2 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)

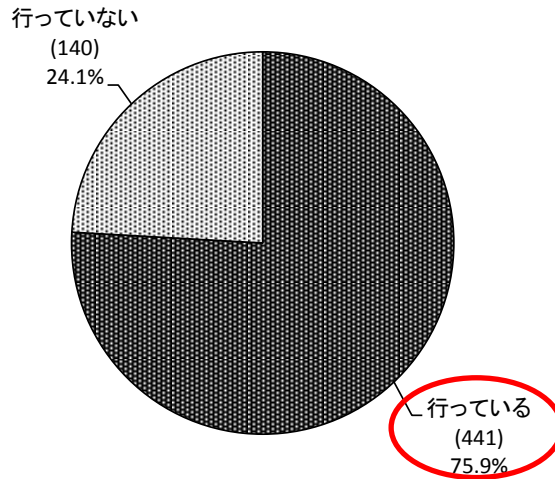
## 4 学生と地域が協働して行う活動の状況

### (1) 学生の地域貢献活動の実施状況

#### ① 活動有無

学生の地域貢献活動の実施有無についてきいた。「行っている」との回答割合は約 76%であった。

図表 53 活動有無



※学生の地域貢献活動：学生が、地域が抱える諸問題の発見とその解決に向けて、地域の人々（市民）と協力しながら行う活動

#### 【設置者別の回答状況】

設置者別に学生の地域貢献活動の実施有無についてみた。『国立大学』の「行っている」との回答割合が高い。

図表 54 設置者別 活動有無

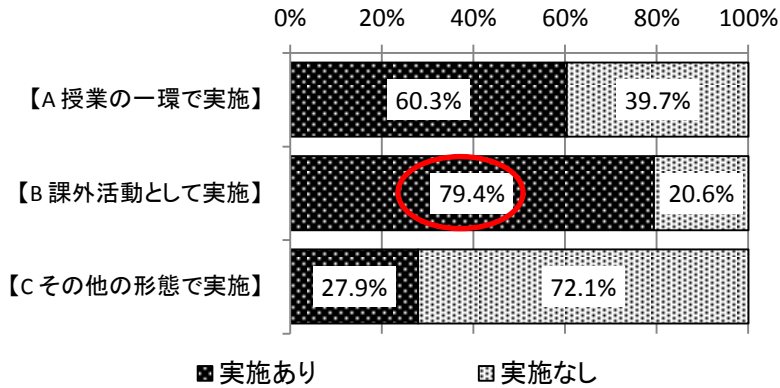
	全体	行っている	行っていない	無回答
全体	581 ( 100.0%)	441 ( 75.9%)	140 ( 24.1%)	0 ( 0.0%)
国立大学	73 ( 100.0%)	59 ( 80.8%)	14 ( 19.2%)	0 ( 0.0%)
公立大学	56 ( 100.0%)	44 ( 78.6%)	12 ( 21.4%)	0 ( 0.0%)
私立大学	450 ( 100.0%)	337 ( 74.9%)	113 ( 25.1%)	0 ( 0.0%)
その他	2 ( 100.0%)	1 ( 50.0%)	1 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)



②実施形態毎の実施有無

学生の地域貢献活動の実施形態毎の実施有無をきいた。【B 課外活動として実施】の「実施あり」の回答割合が高い。

図表 55 実施形態毎の実施有無



参考:C その他の形態での実施の内容

- |                |           |                |
|----------------|-----------|----------------|
| ・ボランティア (回答多数) | ・個別プロジェクト | ・市民参画事業への学生参加  |
| ・学園祭、大学祭       | ・ワークショップ  | ・受託研究          |
| ・サークル・自治会      | ・安全パトロール  | ・準正課活動         |
| ・公開講座          | ・学校教育支援   | ・少年サポート隊・留学生交流 |
| ・学生会活動、学友会     |           | など             |

【設置者別の回答状況】

設置者別に学生の地域貢献活動の実施形態毎の実施有無をみた。【A 授業の一環で実施】については『国立大学』の「実施あり」の回答割合が高い。【B 課外活動として実施】については『公立大学』及び『私立大学』の「実施あり」の回答割合が比較的高い。

図表 56 設置者別 実施形態毎の実施有無 【A 授業の一環で実施】

	全体	実施あり	実施なし	無回答
全体	441 ( 100.0%)	266 ( 60.3%)	175 ( 39.7%)	0 ( 0.0%)
国立大学	59 ( 100.0%)	42 ( 71.2%)	17 ( 28.8%)	0 ( 0.0%)
公立大学	44 ( 100.0%)	28 ( 63.6%)	16 ( 36.4%)	0 ( 0.0%)
私立大学	337 ( 100.0%)	196 ( 58.2%)	141 ( 41.8%)	0 ( 0.0%)
その他	1 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)

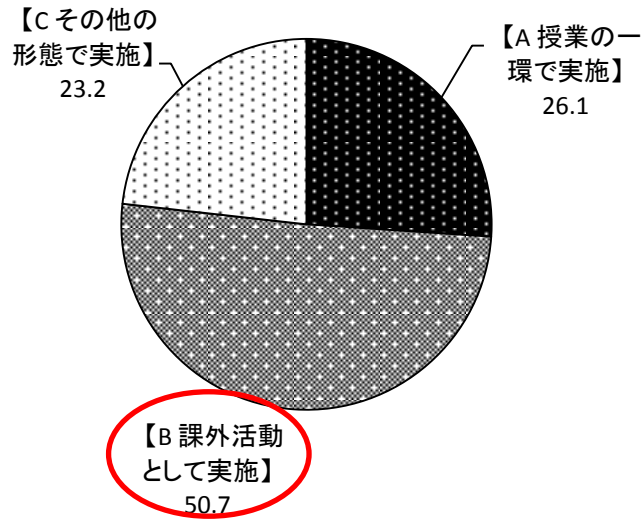
図表 57 設置者別 実施形態毎の実施有無 【B 課外活動として実施】

	全体	実施あり	実施なし	無回答
全体	441 ( 100.0%)	350 ( 79.4%)	91 ( 20.6%)	0 ( 0.0%)
国立大学	59 ( 100.0%)	44 ( 74.6%)	15 ( 25.4%)	0 ( 0.0%)
公立大学	44 ( 100.0%)	36 ( 81.8%)	8 ( 18.2%)	0 ( 0.0%)
私立大学	337 ( 100.0%)	270 ( 80.1%)	67 ( 19.9%)	0 ( 0.0%)
その他	1 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)

### ③プログラム件数

実施形態毎に学生の地域貢献活動のプログラム件数をきいた。実施形態毎のプログラム件数全体に占める割合として【B課外活動として実施】の割合が高い。

図表 58 実施形態毎のプログラム件数の全体に占める割合 (%) (N=428)



#### 【設置者別の回答状況】

設置者別に実施形態毎に学生の地域貢献活動のプログラム件数をみた。【A授業の一環で実施】については大きな差はなかった。【B課外活動として実施】については『公立大学』の平均プログラム件数が突出して多かった。

図表 59 設置者別 実施形態毎のプログラム件数

【A 授業の一環で実施】	全体	合計	平均	【B 課外活動として実施】	全体	合計	平均
全体	428	2,337	5.5	全体	428	4,547	10.6
国立大学	55	323	5.9	国立大学	55	330	6.0
公立大学	43	208	4.8	公立大学	43	1,049	24.4
私立大学	329	1,806	5.5	私立大学	329	3,168	9.6
その他	1	0	0.0	その他	1	0	0.0

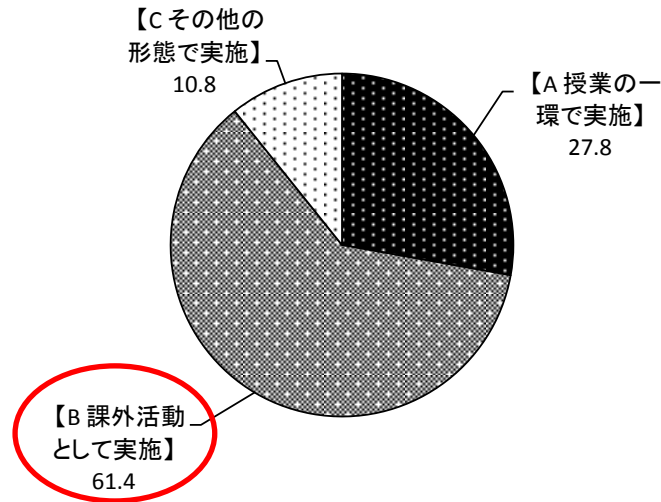
  

【C その他の形態で実施】	全体	合計	平均
全体	428	2,083	4.9
国立大学	55	1,339	24.3
公立大学	43	157	3.7
私立大学	329	586	1.8
その他	1	1	1.0

④参加学生数

学生の地域貢献活動の参加学生数についてきた。実施形態毎の参加学生全体に占める割合として【B課外活動として実施】の割合が高い。

図表 60 実施形態毎の参加学生数の全体に占める割合 (%) (N=411)



【設置者別の回答状況】

設置者別に学生の地域貢献活動の参加学生数についてみた。【A授業の一環で実施】については『国立大学』の平均参加学生数が突出して多い。【B課外活動として実施】については『公立大学』の平均参加学生数が多かった。

図表 61 設置者別 実施形態毎の参加学生数

【A 授業の一環で実施】	全体	合計	平均	【B 課外活動として実施】	全体	合計	平均
全体	411	38,153	92.8	全体	410	84,201	205.4
国立大学	52	7,092	136.4	国立大学	52	10,310	198.3
公立大学	41	2,727	66.5	公立大学	41	10,595	258.4
私立大学	317	28,334	89.4	私立大学	316	63,296	200.3
その他	1	0	0.0	その他	1	0	0.0

【C その他の形態で実施】	全体	合計	平均
全体	411	14,754	35.9
国立大学	52	4,689	90.2
公立大学	41	1,850	45.1
私立大学	317	8,180	25.8
その他	1	35	35.0

⑤活動テーマ

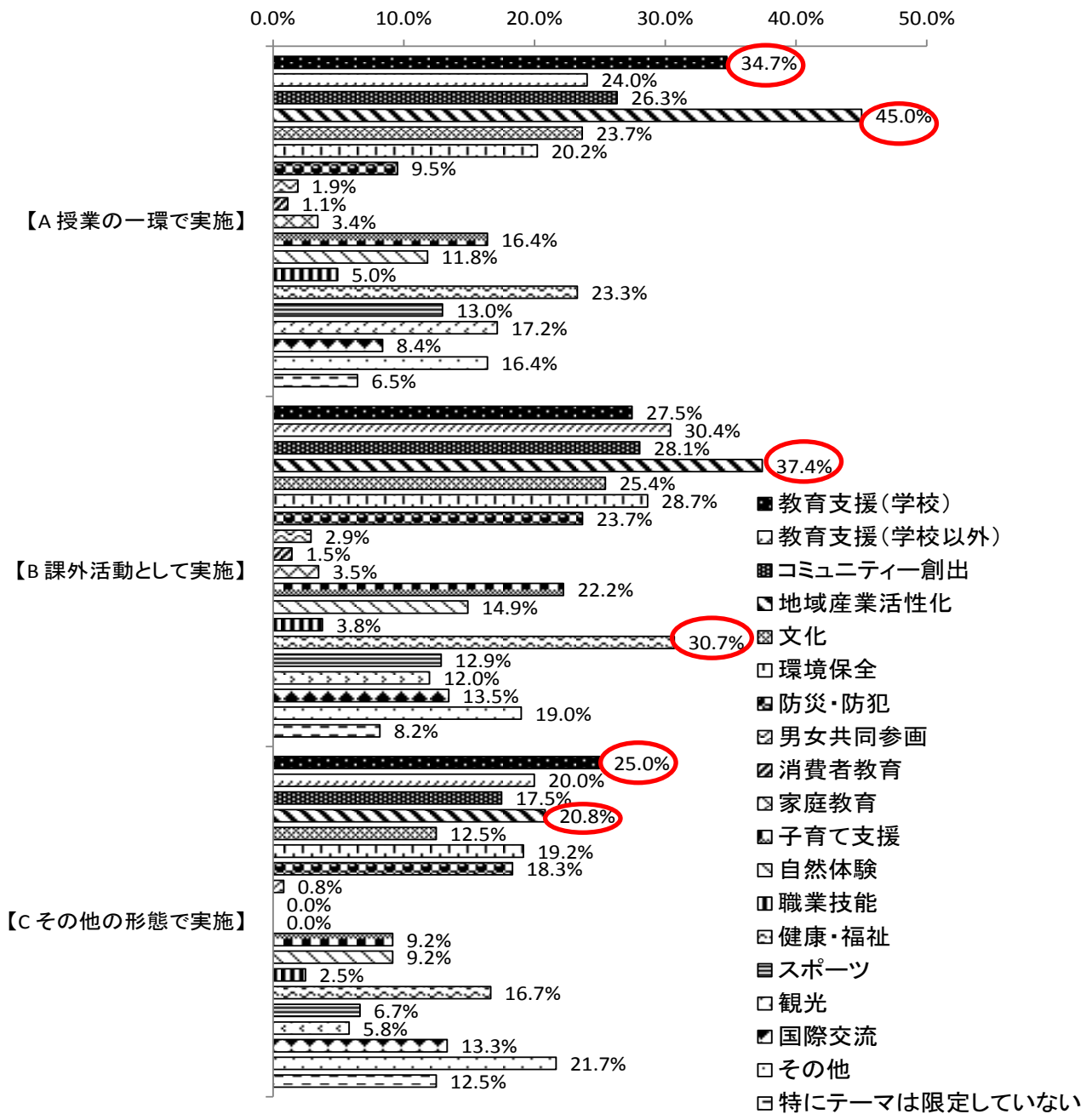
学生の地域貢献活動の活動テーマについてきいた。【A授業の一環で実施】については特に「地域産業活性化」、「教育支援（学校）」、【B課外活動として実施】については特に「地域産業活性化」、「健康・福祉」の割合が高かった。

図表 62 活動テーマ（複数回答）

(A授業の一環で実施 N=262)

(B課外活動として実施 N=345)

(Cその他の形態で実施 N=122)



【設置者別の回答状況】

設置者別に学生の地域貢献活動の活動テーマについてみた。【A授業の一環で実施】については、全体で割合の高かった「地域産業活性化」、「教育支援（学校）」ともに『国立大学』の回答割合が高い。

【B課外活動として実施】については全体で割合の高かった「地域産業活性化」は『国立大学』及び『公立大学』、「健康・福祉」は『公立大学』の回答割合が高かった。

図表 63 設置者別 活動テーマ【A 授業の一環で実施】

全体	教育支援(学校)	教育支援(学校以外)	コミュニティー創出	地域産業活性化	文化	環境保全	防災・防犯	男女共同参画	消費者教育	家庭教育	子育て支援	自然体験	職業技能	健康・福祉	スポーツ	観光	国際交流	その他	特にテーマは限定していない	無回答	
全体	262 ( 3.10)	91 ( 34.7%)	63 ( 24.0%)	69 ( 26.3%)	118 ( 45.0%)	62 ( 23.7%)	53 ( 20.2%)	25 ( 9.5%)	5 ( 1.9%)	3 ( 1.1%)	9 ( 3.4%)	43 ( 16.4%)	31 ( 11.8%)	13 ( 5.0%)	61 ( 23.3%)	34 ( 13.0%)	45 ( 17.2%)	22 ( 8.4%)	43 ( 16.4%)	17 ( 6.5%)	5 ( 1.9%)
国立大学	42 ( 4.67)	22 ( 52.4%)	20 ( 47.6%)	16 ( 38.1%)	24 ( 57.1%)	13 ( 31.0%)	13 ( 31.0%)	7 ( 16.7%)	3 ( 7.1%)	2 ( 4.8%)	4 ( 9.5%)	8 ( 19.0%)	9 ( 21.4%)	6 ( 14.3%)	12 ( 28.6%)	5 ( 11.9%)	8 ( 19.0%)	8 ( 19.0%)	10 ( 23.8%)	5 ( 11.9%)	1 ( 2.4%)
公立大学	28 ( 3.07)	8 ( 28.6%)	3 ( 10.7%)	6 ( 21.4%)	12 ( 42.9%)	5 ( 17.9%)	9 ( 32.1%)	3 ( 10.7%)	1 ( 3.6%)	0 ( 0.0%)	1 ( 3.6%)	5 ( 17.9%)	3 ( 9.5%)	1 ( 3.6%)	9 ( 32.1%)	4 ( 14.3%)	6 ( 21.4%)	3 ( 10.7%)	4 ( 14.3%)	2 ( 7.1%)	1 ( 3.6%)
私立大学	192 ( 2.76)	61 ( 31.8%)	40 ( 20.8%)	47 ( 24.5%)	82 ( 42.7%)	44 ( 22.9%)	31 ( 16.1%)	15 ( 7.8%)	1 ( 0.5%)	1 ( 0.5%)	4 ( 2.1%)	30 ( 15.6%)	19 ( 9.9%)	6 ( 3.1%)	40 ( 20.8%)	25 ( 13.0%)	31 ( 16.1%)	11 ( 5.7%)	29 ( 15.1%)	10 ( 5.2%)	3 ( 1.6%)
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

図表 64 設置者別 活動テーマ【B 課外活動として実施】

全体	教育支援(学校)	教育支援(学校以外)	コミュニティー創出	地域産業活性化	文化	環境保全	防災・防犯	男女共同参画	消費者教育	家庭教育	子育て支援	自然体験	職業技能	健康・福祉	スポーツ	観光	国際交流	その他	特にテーマは限定していない	無回答	
全体	345 ( 3.50)	95 ( 27.5%)	104 ( 30.1%)	96 ( 27.8%)	129 ( 37.4%)	88 ( 25.5%)	98 ( 28.4%)	83 ( 24.1%)	10 ( 2.9%)	5 ( 1.4%)	13 ( 3.8%)	78 ( 22.6%)	51 ( 14.8%)	13 ( 3.8%)	107 ( 31.0%)	44 ( 12.8%)	41 ( 11.9%)	46 ( 13.3%)	66 ( 19.1%)	29 ( 8.4%)	12 ( 3.5%)
国立大学	44 ( 4.39)	15 ( 34.1%)	25 ( 56.8%)	14 ( 31.8%)	20 ( 45.5%)	16 ( 36.4%)	17 ( 38.6%)	6 ( 13.6%)	2 ( 4.5%)	2 ( 4.5%)	1 ( 2.3%)	10 ( 22.7%)	9 ( 20.5%)	4 ( 9.1%)	13 ( 29.5%)	7 ( 15.9%)	6 ( 13.6%)	7 ( 15.9%)	15 ( 34.1%)	3 ( 6.8%)	1 ( 2.3%)
公立大学	36 ( 3.78)	10 ( 27.8%)	9 ( 25.0%)	12 ( 33.3%)	16 ( 44.4%)	10 ( 27.8%)	11 ( 30.6%)	9 ( 25.0%)	2 ( 5.6%)	0 ( 0.0%)	1 ( 2.8%)	11 ( 30.6%)	3 ( 8.3%)	0 ( 0.0%)	13 ( 36.1%)	3 ( 8.3%)	7 ( 19.4%)	8 ( 22.2%)	4 ( 11.1%)	6 ( 16.7%)	1 ( 2.8%)
私立大学	265 ( 3.32)	70 ( 26.4%)	70 ( 26.4%)	70 ( 26.4%)	93 ( 35.1%)	62 ( 23.4%)	70 ( 26.4%)	68 ( 25.7%)	6 ( 2.3%)	3 ( 1.1%)	11 ( 4.2%)	57 ( 21.5%)	39 ( 14.7%)	9 ( 3.4%)	81 ( 30.6%)	34 ( 12.8%)	28 ( 10.6%)	31 ( 11.7%)	47 ( 17.7%)	20 ( 7.5%)	10 ( 3.8%)
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

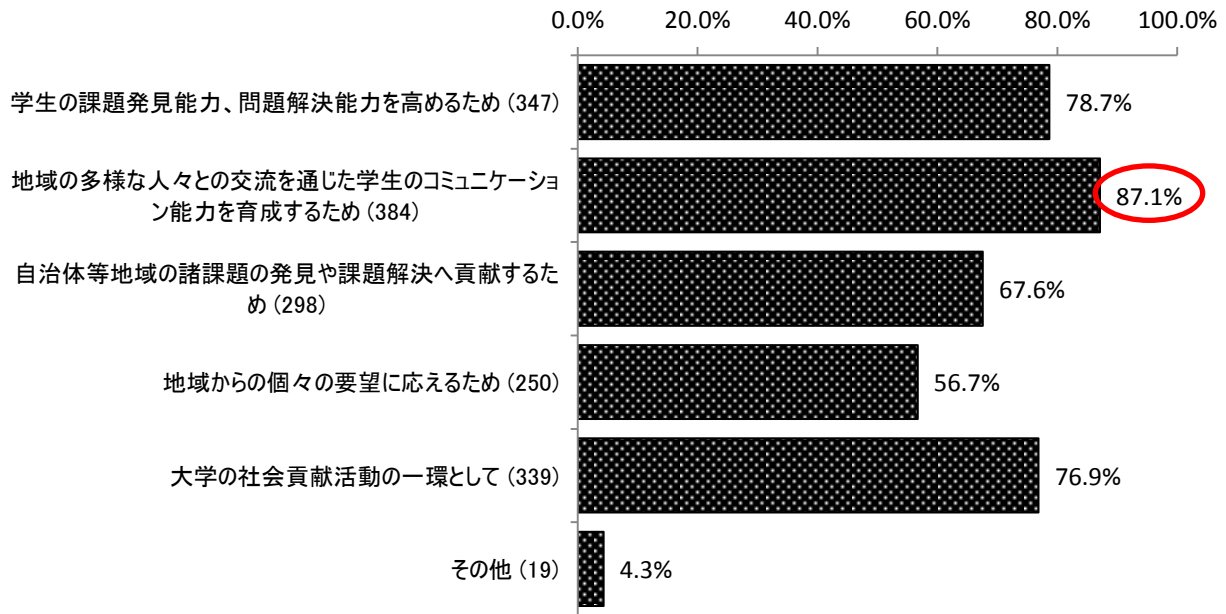
図表 65 設置者別 活動テーマ【C その他の形態で実施】

全体	教育支援(学校)	教育支援(学校以外)	コミュニティー創出	地域産業活性化	文化	環境保全	防災・防犯	男女共同参画	消費者教育	家庭教育	子育て支援	自然体験	職業技能	健康・福祉	スポーツ	観光	国際交流	その他	特にテーマは限定していない	無回答	
全体	122 ( 2.39)	31 ( 25.4%)	24 ( 19.7%)	21 ( 17.2%)	26 ( 21.3%)	15 ( 12.3%)	24 ( 19.7%)	22 ( 18.0%)	1 ( 0.8%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	12 ( 9.8%)	11 ( 9.0%)	3 ( 2.5%)	20 ( 16.4%)	8 ( 6.6%)	7 ( 5.7%)	16 ( 13.1%)	27 ( 22.1%)	15 ( 12.3%)	8 ( 6.6%)
国立大学	33 ( 2.82)	13 ( 39.4%)	12 ( 36.4%)	7 ( 21.2%)	7 ( 21.2%)	7 ( 21.2%)	7 ( 21.2%)	5 ( 15.2%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 6.1%)	4 ( 12.1%)	2 ( 6.1%)	4 ( 12.1%)	2 ( 3.0%)	1 ( 18.2%)	6 ( 21.2%)	7 ( 15.2%)	5 ( 15.2%)	2 ( 6.1%)
公立大学	10 ( 3.20)	6 ( 60.0%)	2 ( 20.0%)	1 ( 10.0%)	1 ( 10.0%)	1 ( 10.0%)	1 ( 10.0%)	3 ( 30.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	3 ( 30.0%)	1 ( 10.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 20.0%)	1 ( 10.0%)	2 ( 20.0%)	1 ( 10.0%)	5 ( 50.0%)	2 ( 20.0%)	0 ( 0.0%)
私立大学	78 ( 2.09)	12 ( 15.4%)	10 ( 12.8%)	13 ( 16.7%)	17 ( 21.8%)	6 ( 7.7%)	16 ( 20.5%)	14 ( 17.9%)	1 ( 1.3%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	7 ( 9.0%)	6 ( 7.7%)	1 ( 1.3%)	14 ( 17.9%)	5 ( 6.4%)	3 ( 3.8%)	9 ( 11.5%)	15 ( 19.2%)	8 ( 10.3%)	6 ( 7.7%)
その他	1 ( 3.00)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 100.0%)	1 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	

⑥ 学生の地域貢献活動の目的

学生の地域貢献活動の目的についてきた。「地域の多様な人々との交流を通じた学生のコミュニケーション能力を育成するため」との回答割合が高い。

図表 66 学生の地域貢献活動の目的（複数回答）



【設置者別の回答状況】

設置者別に学生の地域貢献活動の目的についてみた。いずれの項目も『国立大学』の回答割合が高かった。

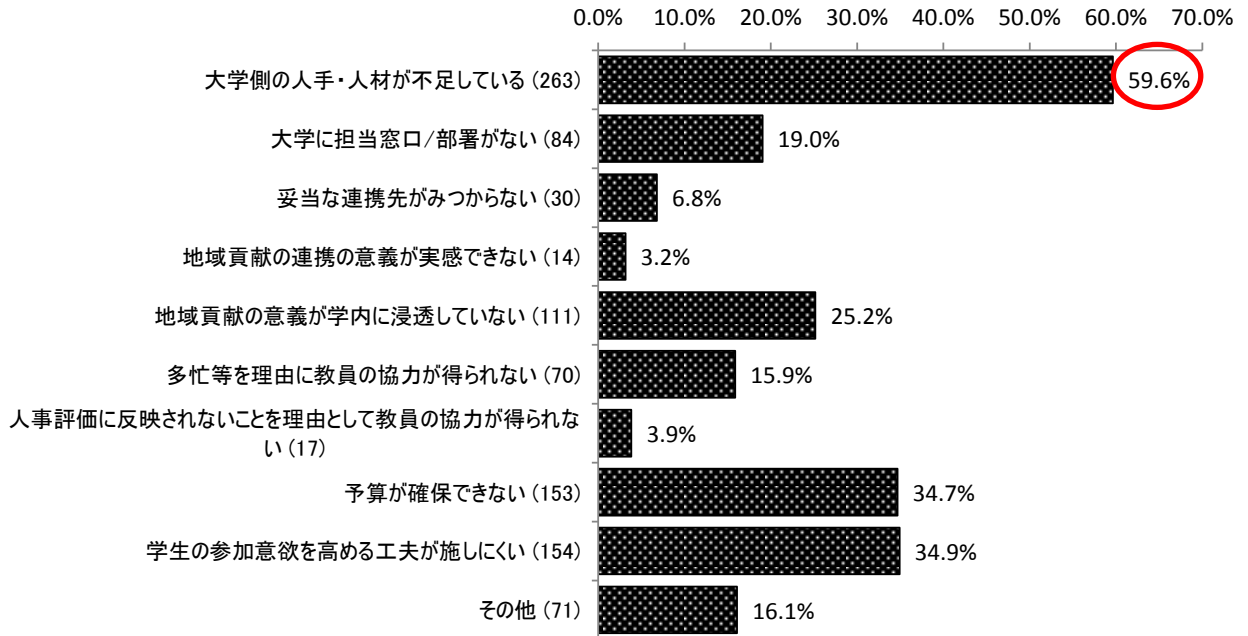
図表 67 設置者別 学生の地域貢献活動の目的（複数回答）

	全体	学生の課題発見能力、問題解決能力を高めるため	地域の多様な人々との交流を通じた学生のコミュニケーション能力を育成するため	自治体等地域の諸課題の発見や課題解決へ貢献するため	地域からの個々の要望に応えるため	大学の社会貢献活動の一環として	その他	無回答
全体	441 ( 3.73)	347 ( 78.7%)	384 ( 87.1%)	298 ( 67.6%)	250 ( 56.7%)	339 ( 76.9%)	19 ( 4.3%)	9 ( 2.0%)
国立大学	59 ( 4.22)	52 ( 88.1%)	55 ( 93.2%)	49 ( 83.1%)	41 ( 69.5%)	46 ( 78.0%)	6 ( 10.2%)	0 ( 0.0%)
公立大学	44 ( 3.80)	36 ( 81.8%)	38 ( 86.4%)	35 ( 79.5%)	25 ( 56.8%)	30 ( 68.2%)	1 ( 2.3%)	2 ( 4.5%)
私立大学	337 ( 3.64)	258 ( 76.6%)	290 ( 86.1%)	213 ( 63.2%)	184 ( 54.6%)	263 ( 78.0%)	12 ( 3.6%)	7 ( 2.1%)
その他	1 ( 3.00)	1 ( 100.0%)	1 ( 100.0%)	1 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)

⑦ 学生の地域貢献活動の際の課題

学生の地域貢献活動の際の課題についてきた。地域連携の際の課題と同様、「大学側の人手・人材が不足している」との回答割合が突出して高かった。

図表 68 学生の地域貢献活動の際の課題（複数回答）



【設置者別の回答状況】

設置者別に学生の地域貢献活動の際の課題についてみた。多くの項目で『国立大学』の回答割合が高い。この他、『私立大学』の「大学に担当窓口/部署がない」、「妥当な連携先が見つからない」、「学生の参加意欲を高める工夫が施しにくい」との回答割合が高かった。

図表 69 設置者別 学生の地域貢献活動の際の課題（複数回答）

	全体	大学側の人手・人材が不足している	大学に担当窓口/部署がない	妥当な連携先が見つからない	地域貢献の連携の意義が実感できない	地域貢献の意義が学内に浸透していない	多忙等を理由に教員の協力が得られない	人事評価に反映されないことを理由として教員の協力が得られない	予算が確保できない	学生の参加意欲を高める工夫が施しにくい	その他	無回答
全体	441 ( 2.26)	263 ( 59.6%)	84 ( 19.0%)	30 ( 6.8%)	14 ( 3.2%)	111 ( 25.2%)	70 ( 15.9%)	17 ( 3.9%)	153 ( 34.7%)	154 ( 34.9%)	71 ( 16.1%)	31 ( 7.0%)
国立大学	59 ( 3.07)	41 ( 69.5%)	9 ( 15.3%)	3 ( 5.1%)	5 ( 8.5%)	27 ( 45.8%)	19 ( 32.2%)	9 ( 15.3%)	36 ( 61.0%)	19 ( 32.2%)	11 ( 18.6%)	2 ( 3.4%)
公立大学	44 ( 1.86)	24 ( 54.5%)	4 ( 9.1%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	7 ( 15.9%)	4 ( 9.1%)	0 ( 0.0%)	16 ( 36.4%)	13 ( 29.5%)	11 ( 25.0%)	3 ( 6.8%)
私立大学	337 ( 2.18)	197 ( 58.5%)	71 ( 21.1%)	27 ( 8.0%)	9 ( 2.7%)	77 ( 22.8%)	47 ( 13.9%)	8 ( 2.4%)	101 ( 30.0%)	122 ( 36.2%)	49 ( 14.5%)	26 ( 7.7%)
その他	1 ( 1.00)	1 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)

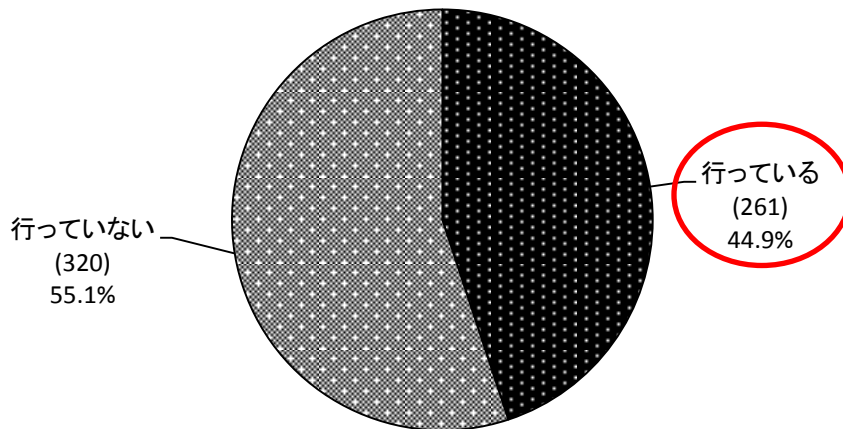
## 5 社会人の学び直しについて

### (1) 社会人の学び直しに関する取り組み状況

#### ① 実施有無

社会人の学び直しに関する取り組みの実施有無についてきいた。「行っている」との回答割合は約 45%であった。

図表 70 実施有無



#### 【設置者別の回答状況】

設置者別に社会人の学び直しに関する取り組みの実施有無についてみた。『国立大学』の「行っている」との回答割合が特に高かった。

図表 71 設置者別 実施有無

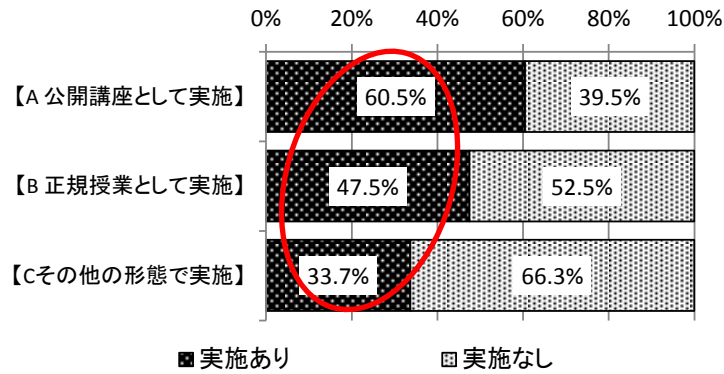
	全体	行っている	行っていない	無回答
全体	581 ( 100.0%)	261 ( 44.9%)	320 ( 55.1%)	0 ( 0.0%)
国立大学	73 ( 100.0%)	50 ( 68.5%)	23 ( 31.5%)	0 ( 0.0%)
公立大学	56 ( 100.0%)	30 ( 53.6%)	26 ( 46.4%)	0 ( 0.0%)
私立大学	450 ( 100.0%)	180 ( 40.0%)	270 ( 60.0%)	0 ( 0.0%)
その他	2 ( 100.0%)	1 ( 50.0%)	1 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)



②実施形態別の実施有無

実施形態別に社会人の学び直しに関する取り組みの実施有無をきいた。【A公開講座として実施】の「実施あり」の回答割合は約61%、【B正規授業として実施】の「実施あり」の割合は約48%であった。

図表 72 実施形態別の実施有無



参考:C その他の形態での実施の内容

- ・科目等履修制度 (回答多数)
  - ・履修証明制度・聴講生制度
  - ・シニアカレッジ
  - ・セミナー
  - ・リカレント教育
  - ・委託事業
  - ・教員免許更新講習等
  - ・公的職業訓練
  - ・資格取得講座
  - ・通信教育講座
- など

【設置者別の回答状況】

設置者別に実施形態別の社会人の学び直しに関する取り組みの実施有無についてみた。【A公開講座として実施】については特に傾向の差はなく、【B正規授業として実施】は『公立大学』の回答割合が高かった。

図表 73 設置者別 実施形態別の実施有無

【A 公開講座として実施】	全体	実施あり	実施なし	無回答
全体	261 ( 100.0%)	158 ( 60.5%)	103 ( 39.5%)	0 ( 0.0%)
国立大学	50 ( 100.0%)	30 ( 60.0%)	20 ( 40.0%)	0 ( 0.0%)
公立大学	30 ( 100.0%)	18 ( 60.0%)	12 ( 40.0%)	0 ( 0.0%)
私立大学	180 ( 100.0%)	109 ( 60.6%)	71 ( 39.4%)	0 ( 0.0%)
その他	1 ( 100.0%)	1 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
【B 正規授業として実施】	全体	実施あり	実施なし	無回答
全体	261 ( 100.0%)	124 ( 47.5%)	137 ( 52.5%)	0 ( 0.0%)
国立大学	50 ( 100.0%)	26 ( 52.0%)	24 ( 48.0%)	0 ( 0.0%)
公立大学	30 ( 100.0%)	17 ( 56.7%)	13 ( 43.3%)	0 ( 0.0%)
私立大学	180 ( 100.0%)	80 ( 44.4%)	100 ( 55.6%)	0 ( 0.0%)
その他	1 ( 100.0%)	1 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
【C その他の形態で実施】	全体	実施あり	実施なし	無回答
全体	261 ( 100.0%)	88 ( 33.7%)	173 ( 66.3%)	0 ( 0.0%)
国立大学	50 ( 100.0%)	27 ( 54.0%)	23 ( 46.0%)	0 ( 0.0%)
公立大学	30 ( 100.0%)	14 ( 46.7%)	16 ( 53.3%)	0 ( 0.0%)
私立大学	180 ( 100.0%)	47 ( 26.1%)	133 ( 73.9%)	0 ( 0.0%)
その他	1 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)

③実施形態別の修了までに要する受講料

実施形態別に社会人の学び直しに関する取り組みの修了までに要する受講料をきいた。【A公開講座として実施】の平均受講料は全体で約14,000円であった。【B正規授業として実施】の平均受講料は全体で約680,000円であった。

図表 74 実施形態別の修了までに要する受講料

【A 公開講座として実施】	全体	平均
全体	145	13,595.8
国立大学	28	10,319.6
公立大学	18	14,241.7
私立大学	98	14,552.0
その他	1	0.0

【B 正規授業として実施】	全体	平均
全体	113	676,839.4
国立大学	23	547,351.3
公立大学	16	647,888.1
私立大学	73	696,925.5
その他	1	2,652,000.0

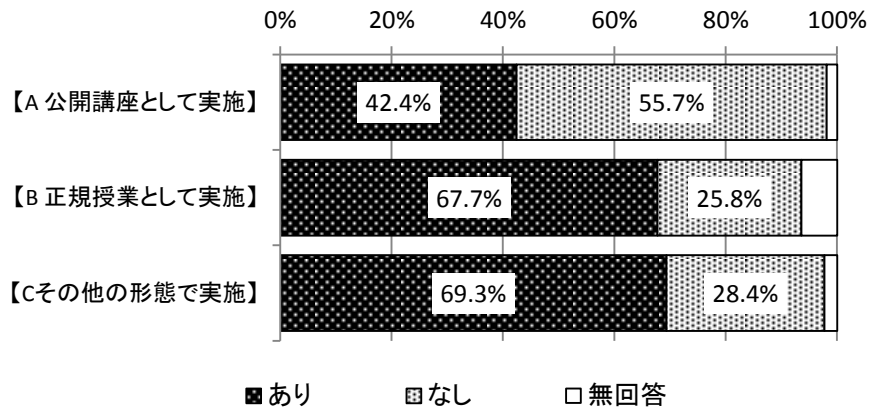
  

【C その他の形態で実施】	全体	平均
全体	85	99,733.8
国立大学	25	40,552.0
公立大学	14	66,417.1
私立大学	46	142,037.7
その他	0	

④実施形態別の受講者相談窓口の設置状況

社会人の学び直しの実施形態毎に受講者相談窓口の設置状況をきいた。【A公開講座として実施】の「あり」の回答割合は約42%、【B正規授業として実施】の「あり」の割合は約68%であった。

図表 75 受講者相談窓口の設置状況



※受講者の相談窓口等：受講中に利用できるキャリアカウンセリングや就業に関わる相談窓口

【設置者別の回答状況】

設置者別に社会人の学び直しの実施形態毎に受講者相談窓口の設置状況をみた。【A公開講座として実施】、【B正規授業として実施】ともに『私立大学』の「あり」の回答割合が高い。

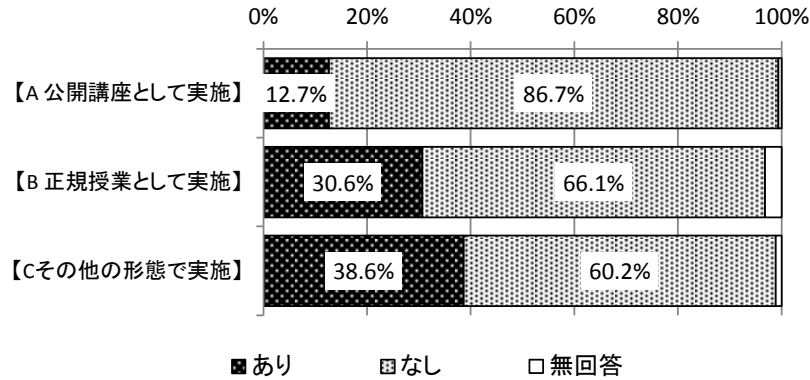
図表 76 設置者別 受講者相談窓口の設置状況

実施形態	全体	あり	なし	無回答	
【A 公開講座として実施】	全体	158 ( 100.0%)	67 ( 42.4%)	88 ( 55.7%)	3 ( 1.9%)
	国立大学	30 ( 100.0%)	10 ( 33.3%)	19 ( 63.3%)	1 ( 3.3%)
	公立大学	18 ( 100.0%)	7 ( 38.9%)	11 ( 61.1%)	0 ( 0.0%)
	私立大学	109 ( 100.0%)	50 ( 45.9%)	57 ( 52.3%)	2 ( 1.8%)
	その他	1 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)
【B 正規授業として実施】	全体	124 ( 100.0%)	84 ( 67.7%)	32 ( 25.8%)	8 ( 6.5%)
	国立大学	26 ( 100.0%)	15 ( 57.7%)	8 ( 30.8%)	3 ( 11.5%)
	公立大学	17 ( 100.0%)	10 ( 58.8%)	5 ( 29.4%)	2 ( 11.8%)
	私立大学	80 ( 100.0%)	58 ( 72.5%)	19 ( 23.8%)	3 ( 3.8%)
	その他	1 ( 100.0%)	1 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
【C その他の形態で実施】	全体	88 ( 100.0%)	61 ( 69.3%)	25 ( 28.4%)	2 ( 2.3%)
	国立大学	27 ( 100.0%)	18 ( 66.7%)	9 ( 33.3%)	0 ( 0.0%)
	公立大学	14 ( 100.0%)	6 ( 42.9%)	8 ( 57.1%)	0 ( 0.0%)
	私立大学	47 ( 100.0%)	37 ( 78.7%)	8 ( 17.0%)	2 ( 4.3%)
	その他	0	0	0	0

⑤実施形態別の受講者ネットワークの有無

社会人の学び直しの実施形態毎に受講者ネットワークの有無をきいた。【A公開講座として実施】の「あり」の回答割合は約13%、【B正規授業として実施】の「あり」の回答割合は約31%であった。

図表 77 受講者ネットワークの有無



※受講者ネットワーク：受講者団体等の人的つながり（学校側が意図して又は受講者が自ら創出したネットワーク）

【設置者別の回答状況】

設置者別に社会人の学び直しの実施形態毎に受講者ネットワークの有無をみた。「ネットワークあり」についてみていくと、【A公開講座として実施】については『国立大学』及び『公立大学』の「ネットワークあり」回答割合が高い。【B正規授業として実施】については『国立大学』及び『私立大学』の「ネットワークあり」の回答割合が高い。

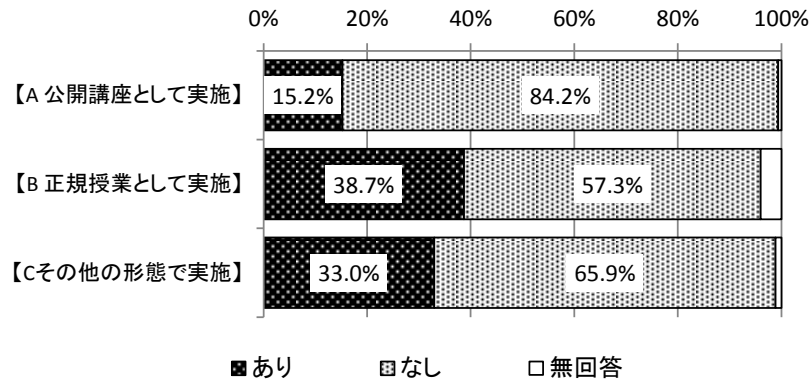
図表 78 設置者別 受講者ネットワークの有無

実施形態	全体	ネットワーク		無回答
		あり	なし	
【A 公開講座として実施】				
全体	158	20 (12.7%)	137 (86.7%)	1 (0.6%)
国立大学	30	5 (16.7%)	25 (83.3%)	0 (0.0%)
公立大学	18	3 (16.7%)	15 (83.3%)	0 (0.0%)
私立大学	109	12 (11.0%)	96 (88.1%)	1 (0.9%)
その他	1	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
【B 正規授業として実施】				
全体	124	38 (30.6%)	82 (66.1%)	4 (3.2%)
国立大学	26	9 (34.6%)	16 (61.5%)	1 (3.8%)
公立大学	17	2 (11.8%)	15 (88.2%)	0 (0.0%)
私立大学	80	26 (32.5%)	51 (63.8%)	3 (3.8%)
その他	1	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
【C その他の形態で実施】				
全体	88	34 (38.6%)	53 (60.2%)	1 (1.1%)
国立大学	27	20 (74.1%)	7 (25.9%)	0 (0.0%)
公立大学	14	2 (14.3%)	12 (85.7%)	0 (0.0%)
私立大学	47	12 (25.5%)	34 (72.3%)	1 (2.1%)
その他	0	0	0	0

⑥実施形態別の受講者が集う場所の有無

社会人の学び直しの実施形態毎に受講者が集う場所の有無をきいた。【A公開講座として実施】の「あり」の回答割合は約15%、【B正規授業として実施】の「あり」の割合は約39%であった。

図表 79 受講者が集う場所の有無



※受講者が集う場所：学内・学外を問わず上記のような受講者団体が集う場所（学校側が意図して又は受講者が自ら創出した場所）

【設置者別の回答状況】

設置者別に社会人の学び直しの実施形態毎に受講者が集う場所の有無をみた。【A公開講座として実施】、【B正規授業として実施】ともに「集う場所あり」の回答割合が高い。

図表 80 設置者別 受講者が集う場所の有無

実施形態	全体	集う場所あり	集う場所なし	無回答	
【A 公開講座として実施】	全体	158 (100.0%)	24 (15.2%)	133 (84.2%)	1 (0.6%)
	国立大学	30 (100.0%)	4 (13.3%)	26 (86.7%)	0 (0.0%)
	公立大学	18 (100.0%)	1 (5.6%)	17 (94.4%)	0 (0.0%)
	私立大学	109 (100.0%)	19 (17.4%)	89 (81.7%)	1 (0.9%)
	その他	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
	【B 正規授業として実施】	全体	124 (100.0%)	48 (38.7%)	71 (57.3%)
国立大学	26 (100.0%)	10 (38.5%)	14 (53.8%)	2 (7.7%)	
公立大学	17 (100.0%)	3 (17.6%)	14 (82.4%)	0 (0.0%)	
私立大学	80 (100.0%)	34 (42.5%)	43 (53.8%)	3 (3.8%)	
その他	1 (100.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
【C その他の形態で実施】	全体	88 (100.0%)	29 (33.0%)	58 (65.9%)	1 (1.1%)
	国立大学	27 (100.0%)	12 (44.4%)	15 (55.6%)	0 (0.0%)
	公立大学	14 (100.0%)	3 (21.4%)	11 (78.6%)	0 (0.0%)
	私立大学	47 (100.0%)	14 (29.8%)	32 (68.1%)	1 (2.1%)
	その他	0	0	0	0

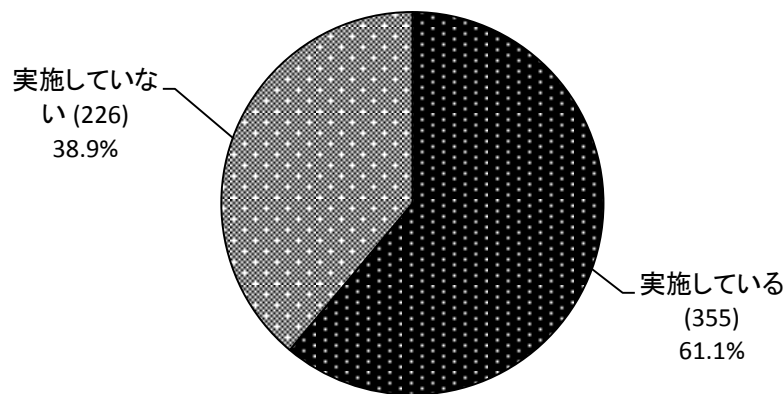
## 6 出前講座・出張講義について

### (1) 出前講座・出張講義の実施状況

#### ① 実施有無

出前講座・出張講義の実施有無についてきいた。「実施している」との回答割合は約61%であった。

図表 81 出前講座・出張講義の実施有無



※公開講座の一環で行われている出前講座等も含まれます。正規授業は含みません。

#### 【設置者別の回答状況】

設置者別に「出前講座・出張講義の実施有無」についてみた。特に『国立大学』の「実施している」との回答割合が高い。

図表 82 設置者別 出前講座・出張講義の実施有無

	全体	実施している	実施していない	無回答
全体	581 ( 100.0%)	355 ( 61.1%)	226 ( 38.9%)	0 ( 0.0%)
国立大学	73 ( 100.0%)	60 ( 82.2%)	13 ( 17.8%)	0 ( 0.0%)
公立大学	56 ( 100.0%)	40 ( 71.4%)	16 ( 28.6%)	0 ( 0.0%)
私立大学	450 ( 100.0%)	255 ( 56.7%)	195 ( 43.3%)	0 ( 0.0%)
その他	2 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)

## ②講座数

出前講座・出張講義の講座数についてきいた。全体では1大学あたり平均（年間）：29.8講座が実施されている。設置者別にみると『国立大学』の平均講座数が多かった。

図表 83 出前講座・出張講義の講座数

	全体	合計	平均
全体	347	10,330	29.8
国立大学	60	3,527	58.8
公立大学	40	1,490	37.3
私立大学	247	5,313	21.5
その他	0	0	

## ③受講者数

出前講座・出張講義の受講者数についてきいた。全体では1大学あたり平均（年間）：1,753人の受講者があった。設置者別にみると『国立大学』の平均受講者数が多かった。

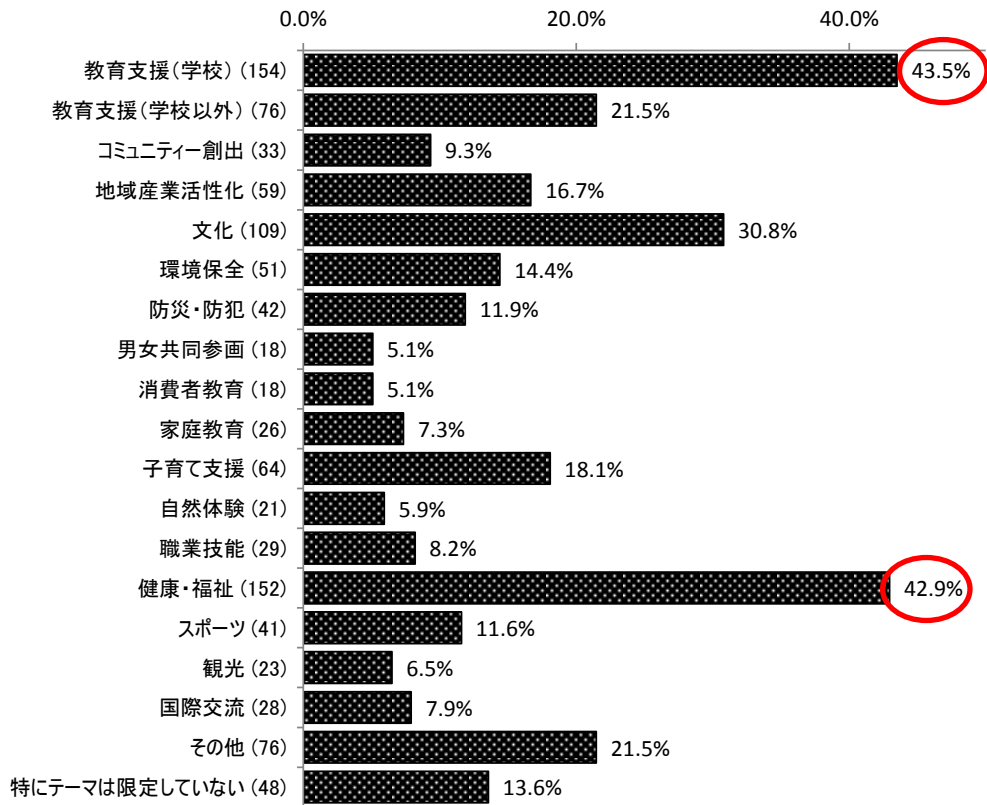
図表 84 出前講座・出張講義の受講者数

	全体	合計	平均
全体	319	559,360	1,753.5
国立大学	55	130,359	2,370.2
公立大学	36	56,384	1,566.2
私立大学	228	372,617	1,634.3
その他	0	0	

④活動テーマ

出前講座・出張講義の活動テーマについてきた。特に「教育支援（学校）」、「健康・福祉」の回答割合が高い。

図表 85 出前講座・出張講義の活動テーマ（複数回答）



【設置者別の回答状況】

設置者別に出前講座・出張講義の活動テーマについてみた。全体で回答割合の高かった「教育支援（学校）」については『国立大学』の回答割合が高い。また、「健康・福祉」については『公立大学』の回答割合が高かった。

図表 86 設置者別 活動テーマ（複数回答）

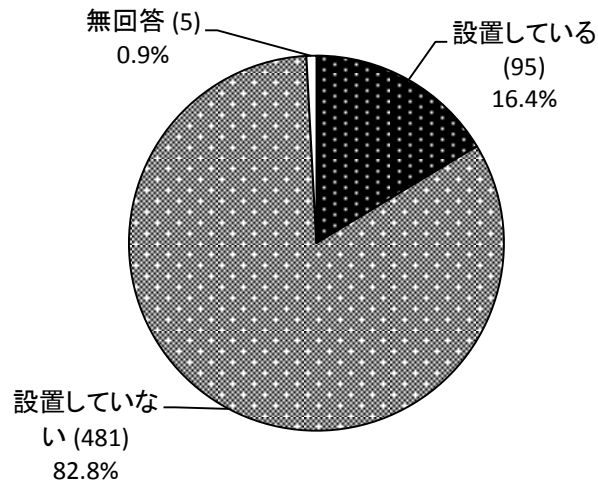
	全体	教育支援(学校)	教育支援(学校以外)	コミュニティー創出	地域産業活性化	文化	環境保全	防災・防犯	男女共同参画	消費者教育	家庭教育	子育て支援	自然体験	職業技能	健康・福祉	スポーツ	観光	国際交流	その他	特にテーマは限定していない	無回答
全体	354 ( 3.03)	154 ( 43.5%)	76 ( 21.5%)	33 ( 9.3%)	59 ( 16.7%)	109 ( 30.8%)	51 ( 14.4%)	42 ( 11.9%)	18 ( 5.1%)	18 ( 5.1%)	26 ( 7.3%)	64 ( 18.1%)	21 ( 5.9%)	29 ( 8.2%)	152 ( 42.9%)	41 ( 11.6%)	23 ( 6.5%)	28 ( 7.9%)	76 ( 21.5%)	48 ( 13.6%)	5 ( 1.4%)
国立大学	60 ( 3.98)	39 ( 65.0%)	25 ( 41.7%)	10 ( 16.7%)	14 ( 23.3%)	18 ( 30.0%)	14 ( 23.3%)	13 ( 21.7%)	2 ( 3.3%)	5 ( 8.3%)	4 ( 6.7%)	7 ( 11.7%)	10 ( 16.7%)	6 ( 10.0%)	27 ( 45.0%)	6 ( 10.0%)	4 ( 6.7%)	4 ( 6.7%)	15 ( 25.0%)	15 ( 25.0%)	1 ( 1.7%)
公立大学	40 ( 3.23)	16 ( 40.0%)	6 ( 15.0%)	5 ( 12.5%)	7 ( 17.5%)	10 ( 25.0%)	12 ( 30.0%)	3 ( 7.5%)	1 ( 2.5%)	3 ( 7.5%)	3 ( 7.5%)	5 ( 12.5%)	2 ( 5.0%)	7 ( 17.5%)	22 ( 55.0%)	4 ( 10.0%)	2 ( 5.0%)	5 ( 12.5%)	10 ( 25.0%)	6 ( 15.0%)	0 ( 0.0%)
私立大学	254 ( 2.78)	99 ( 39.0%)	45 ( 17.7%)	18 ( 7.1%)	38 ( 15.0%)	81 ( 31.9%)	25 ( 9.8%)	26 ( 10.2%)	15 ( 5.9%)	10 ( 3.9%)	19 ( 7.5%)	52 ( 20.5%)	9 ( 3.5%)	16 ( 6.3%)	103 ( 40.6%)	31 ( 12.2%)	17 ( 6.7%)	19 ( 7.5%)	51 ( 20.1%)	27 ( 10.6%)	4 ( 1.6%)
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



## 7 サテライト教室の設置状況

サテライト教室の設置有無についてきいた。「設置している」との回答割合は約 16%であった。

図表 87 サテライト施設の設置状況



※ここでいう「サテライト教室」とは、大学設置基準（昭和 31 年文部省令第 28 号）第 25 条第 4 項に基づき設置され、本校に継続的に通うことが困難な者が教育を受けることができる本校以外のキャンパスを指します（サテライトキャンパス）

### 【設置者別の回答状況】

設置者別にサテライト教室の設置有無についてみた。特に『国立大学』の「設置している」との回答割合が高い。

図表 88 設置者別 サテライト施設の設置状況

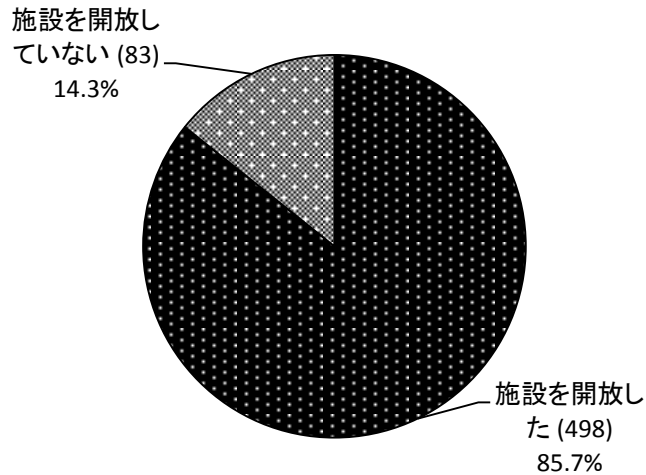
	全体	設置している	設置していない	無回答
全体	581 ( 100.0%)	95 ( 16.4%)	481 ( 82.8%)	5 ( 0.9%)
国立大学	73 ( 100.0%)	24 ( 32.9%)	48 ( 65.8%)	1 ( 1.4%)
公立大学	56 ( 100.0%)	11 ( 19.6%)	45 ( 80.4%)	0 ( 0.0%)
私立大学	450 ( 100.0%)	58 ( 12.9%)	388 ( 86.2%)	4 ( 0.9%)
その他	2 ( 100.0%)	2 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)

## 8 施設の開放状況

### (1) 施設開放の有無

施設開放の実施有無についてきいた。「施設を開放した」との回答割合は約 86%であった。

図表 89 施設開放の有無



※ここでいう「施設の開放」とは、地域住民や子供たちに、社会教育活動やスポーツ等のために体育施設を貸し出したり、地域住民の図書館の利用を認めるなど、大学等の施設を開放することを指します

### 【設置者別の回答状況】

設置者別に施設開放の実施有無についてみた。『国立大学』及び『公立大学』の「施設を開放した」との回答割合が高い。

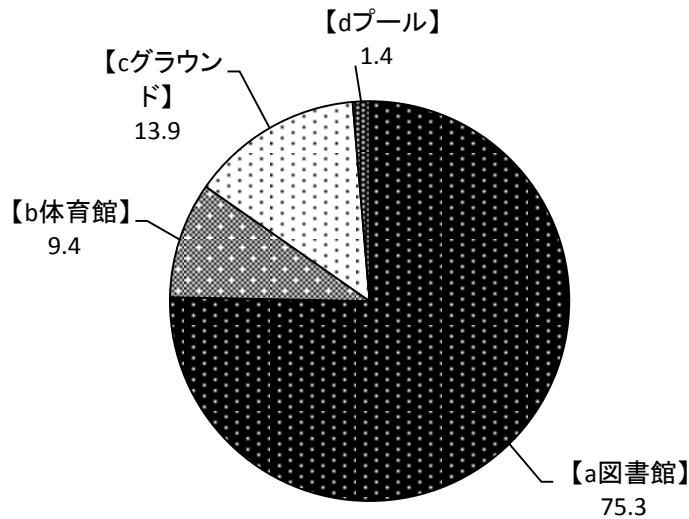
図表 90 設置者別 施設開放の有無

	全体	施設を開放した	施設を開放していない	無回答
全体	581 ( 100.0%)	498 ( 85.7%)	83 ( 14.3%)	0 ( 0.0%)
国立大学	73 ( 100.0%)	71 ( 97.3%)	2 ( 2.7%)	0 ( 0.0%)
公立大学	56 ( 100.0%)	54 ( 96.4%)	2 ( 3.6%)	0 ( 0.0%)
私立大学	450 ( 100.0%)	371 ( 82.4%)	79 ( 17.6%)	0 ( 0.0%)
その他	2 ( 100.0%)	2 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)

(2) 施設開放の日数

施設別の開放日数についてきた。施設別開放日数の総計に占める割合として「a 図書館」の割合が高い。

図表 91 施設別開放日数の全体に占める割合 (%)



【設置者別の回答状況】

設置者別に施設別の開放日数についてみた。いずれの施設とも『国立大学』の開放日数が多い。

図表 92 設置者別 施設別開放日数 (日)

【a図書館】	全体	合計	平均	【b体育館】	全体	合計	平均
全体	473	162,384	343.3	全体	473	20,251	42.8
国立大学	70	53,498	764.3	国立大学	70	5,379	76.8
公立大学	50	16,749	335.0	公立大学	50	3,333	66.7
私立大学	351	91,897	261.8	私立大学	351	11,539	32.9
その他	2	240	120.0	その他	2	0	0.0

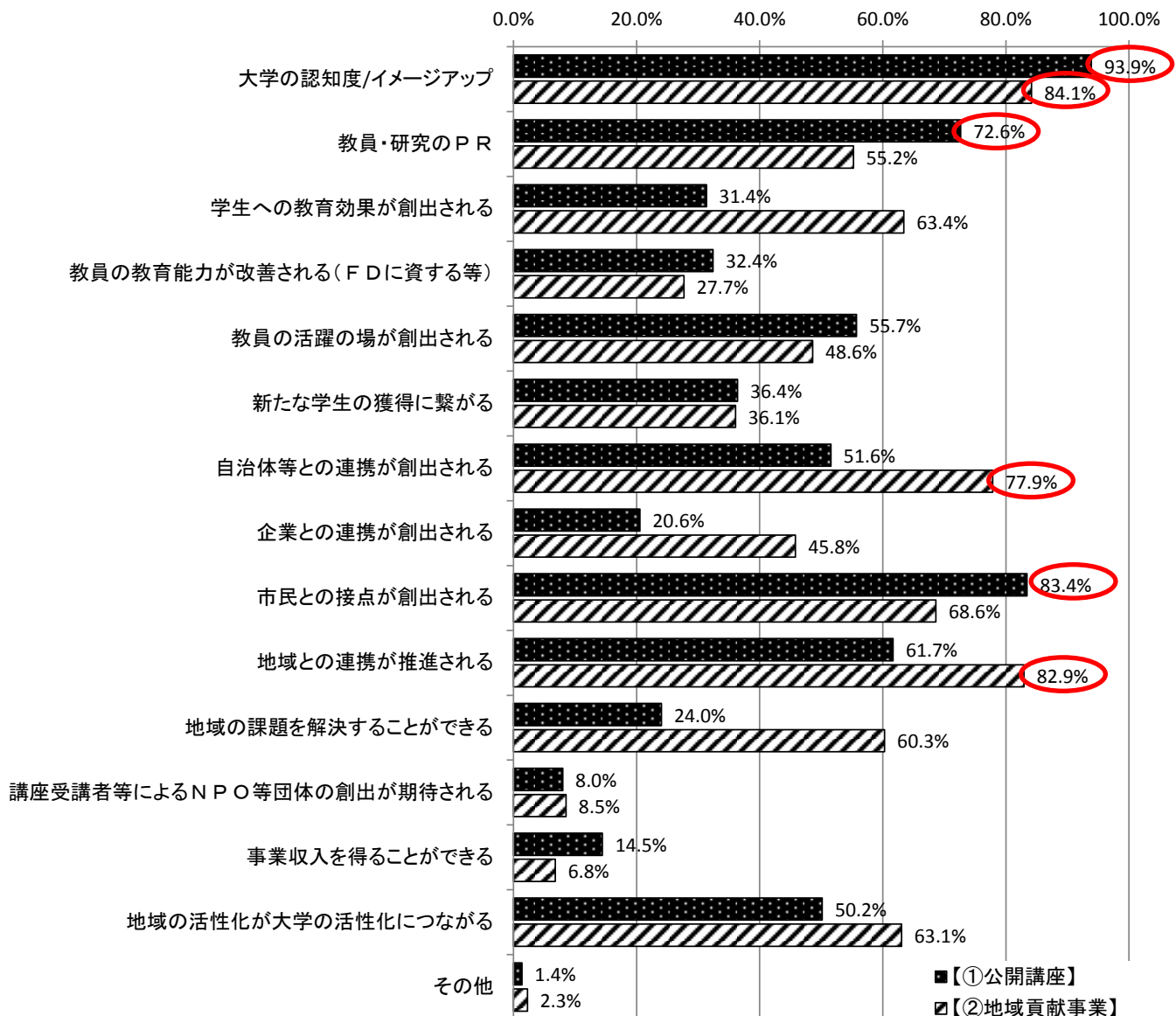
【cグラウンド】	全体	合計	平均	【dプール】	全体	合計	平均
全体	473	30,061	63.6	全体	473	2,927	6.2
国立大学	70	6,961	99.4	国立大学	70	542	7.7
公立大学	50	4,568	91.4	公立大学	50	94	1.9
私立大学	351	18,529	52.8	私立大学	351	2,291	6.5
その他	2	3	1.5	その他	2	0	0.0

## 9 開かれた大学づくりに期待する効果・今後の方針

### (1) 公開講座・地域貢献事業に期待する大学経営に資する効果

公開講座及び地域貢献事業に期待する大学経営に資する効果についてきた。【①公開講座】については特に「大学の認知度/イメージアップ」、「市民との接点が創出される」、「教員・研究のPR」との回答割合が高い。【②地域貢献事業】については特に「大学の認知度/イメージアップ」、「自治体等との連携が創出される」、「地域との連携が推進される」との回答割合が高かった。

図表 93 公開講座・地域貢献事業に期待する大学経営に資する効果（複数回答）



※社会人の学び直し：公開講座や正規授業等を通して実施され、主に「受講者個人の新たなキャリア形成に資する」ことを目的とする取り組み

【設置者別の回答状況】

設置者別に公開講座及び地域貢献事業に期待する大学経営に資する効果についてみた。【①公開講座】については、全体で回答割合の高かった「大学の認知度/イメージアップ」、「教員・研究のPR」、「市民との接点が創出される」とも『国立大学』の回答割合が高い。

【②地域貢献事業】についても、全体で回答割合の高かった「大学の認知度/イメージアップ」、「自治体等との連携が創出される」、「地域との連携が推進される」とも『国立大学』の回答割合が高い。

図表 94 設置者別 公開講座に期待する大学経営に資する効果（複数回答）

	全体	大学の認知度/イメージアップ	教員・研究のPR	学生への教育効果が創出される	教員の教育能力が改善される(FDIに資する等)	教員の活躍の場が創出される	新たな学生の獲得に繋がる	自治体等との連携が創出される	企業との連携が創出される	市民との接点が創出される	地域との連携が推進される	地域の課題を解決することができる	講座受講者等によるNPO等団体の創出が期待される	事業収入を得ることができる	地域の活性化が大学の活性化につながる	その他	無回答
全体	581 ( 6.37)	544 ( 93.6%)	422 ( 72.6%)	181 ( 31.2%)	186 ( 32.0%)	324 ( 55.8%)	210 ( 36.1%)	296 ( 50.9%)	118 ( 20.3%)	483 ( 83.1%)	356 ( 61.3%)	140 ( 24.1%)	46 ( 7.9%)	82 ( 14.1%)	289 ( 49.7%)	8 ( 1.4%)	18 ( 3.1%)
国立大学	73 ( 7.19)	66 ( 90.4%)	57 ( 78.1%)	24 ( 32.9%)	32 ( 43.8%)	47 ( 64.4%)	30 ( 41.1%)	38 ( 52.1%)	20 ( 27.4%)	63 ( 86.3%)	47 ( 64.4%)	26 ( 35.6%)	14 ( 19.2%)	14 ( 19.2%)	41 ( 56.2%)	3 ( 4.1%)	3 ( 4.1%)
公立大学	56 ( 6.30)	53 ( 94.6%)	42 ( 75.0%)	17 ( 30.4%)	15 ( 26.8%)	33 ( 58.9%)	21 ( 37.5%)	24 ( 42.9%)	11 ( 19.6%)	45 ( 80.4%)	34 ( 60.7%)	18 ( 32.1%)	4 ( 7.1%)	10 ( 17.9%)	23 ( 41.1%)	1 ( 1.8%)	2 ( 3.6%)
私立大学	450 ( 6.25)	423 ( 94.0%)	322 ( 71.6%)	140 ( 31.1%)	139 ( 30.9%)	243 ( 54.0%)	157 ( 34.9%)	233 ( 51.8%)	87 ( 19.3%)	373 ( 82.9%)	273 ( 60.7%)	96 ( 21.3%)	27 ( 6.0%)	58 ( 12.9%)	224 ( 49.8%)	4 ( 0.9%)	13 ( 2.9%)
その他	2 ( 6.50)	2 ( 100.0%)	1 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 50.0%)	2 ( 100.0%)	1 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 100.0%)	2 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)

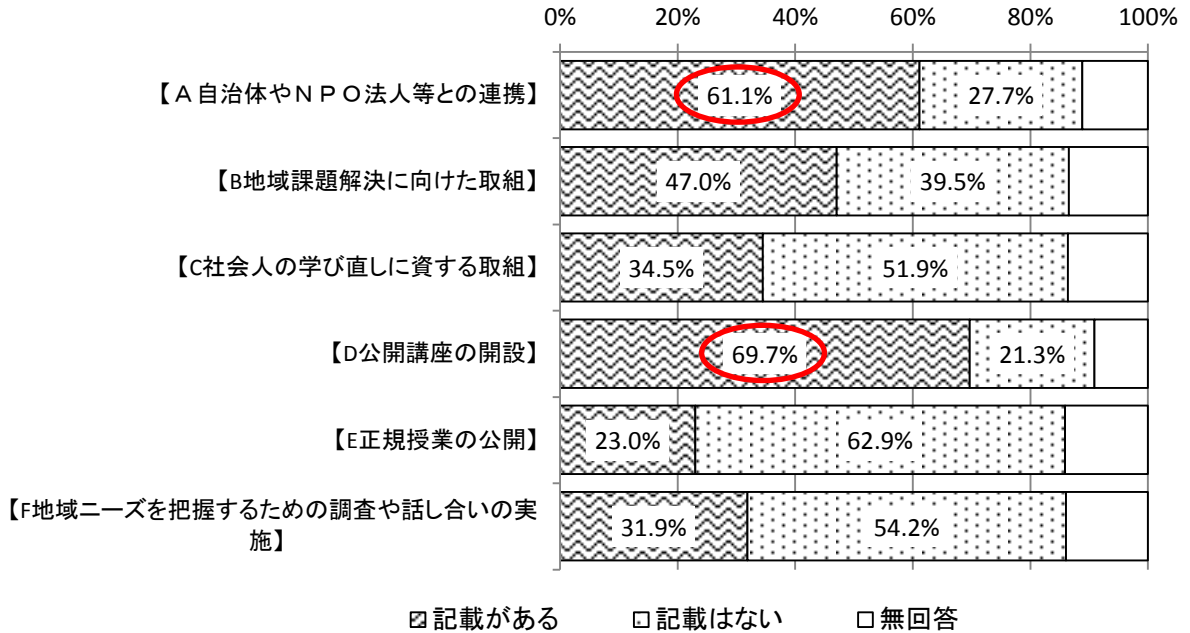
図表 95 設置者別 地域貢献事業に期待する大学経営に資する効果（複数回答）

	全体	大学の認知度/イメージアップ	教員・研究のPR	学生への教育効果が創出される	教員の教育能力が改善される(FDIに資する等)	教員の活躍の場が創出される	新たな学生の獲得に繋がる	自治体等との連携が創出される	企業との連携が創出される	市民との接点が創出される	地域との連携が推進される	地域の課題を解決することができる	講座受講者等によるNPO等団体の創出が期待される	事業収入を得ることができる	地域の活性化が大学の活性化につながる	その他	無回答
全体	581 ( 7.34)	486 ( 83.6%)	320 ( 55.1%)	366 ( 63.0%)	159 ( 27.4%)	281 ( 48.4%)	206 ( 35.5%)	450 ( 77.5%)	266 ( 45.8%)	397 ( 68.3%)	478 ( 82.3%)	349 ( 60.1%)	49 ( 8.4%)	39 ( 6.7%)	363 ( 62.5%)	13 ( 2.2%)	42 ( 7.2%)
国立大学	73 ( 9.21)	66 ( 90.4%)	56 ( 76.7%)	52 ( 71.2%)	33 ( 45.2%)	50 ( 68.5%)	39 ( 53.4%)	63 ( 86.3%)	46 ( 63.0%)	60 ( 82.2%)	65 ( 89.0%)	54 ( 74.0%)	19 ( 26.0%)	6 ( 8.2%)	56 ( 76.7%)	5 ( 6.8%)	2 ( 2.7%)
公立大学	56 ( 7.57)	49 ( 87.5%)	36 ( 64.3%)	41 ( 73.2%)	15 ( 26.8%)	32 ( 57.1%)	14 ( 25.0%)	43 ( 76.8%)	27 ( 48.2%)	37 ( 66.1%)	46 ( 82.1%)	40 ( 71.4%)	3 ( 5.4%)	5 ( 8.9%)	31 ( 55.4%)	1 ( 1.8%)	4 ( 7.1%)
私立大学	450 ( 7.01)	369 ( 82.0%)	226 ( 50.2%)	272 ( 60.4%)	111 ( 24.7%)	199 ( 44.2%)	153 ( 34.0%)	343 ( 76.2%)	191 ( 42.4%)	298 ( 66.2%)	365 ( 81.1%)	254 ( 56.4%)	27 ( 6.0%)	28 ( 6.2%)	274 ( 60.9%)	7 ( 1.6%)	36 ( 8.0%)
その他	2 ( 7.50)	2 ( 100.0%)	2 ( 100.0%)	1 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 50.0%)	2 ( 100.0%)	2 ( 100.0%)	2 ( 100.0%)	1 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)

(2) 開かれた大学づくりの今後の方針に関して、平成 26 年度の事業計画への記載有無

開かれた大学づくりの今後の方針に関して、平成 26 年度の事業計画への記載有無をきいた。「A 自治体や NPO 法人との連携」及び「D 公開講座の開設」の回答割合が高い。

図表 96 平成 26 年度の事業計画への記載有無



【設置者別の回答状況】

設置者別に開かれた大学づくりの今後の方針に関して、平成26年度の事業計画への記載有無をみた。全体で回答割合の高かった「A自治体やNPO法人等との連携」、「D公開講座の開設」とも『国立大学』、『公立大学』の回答割合が高い。

図表 97 設置者別 平成26年度の事業計画への記載有無

【A自治体やNPO法人等との連携】	全体	記載がある	記載はない	無回答	【B地域課題解決に向けた取組】	全体	記載がある	記載はない	無回答
全体	581 (100.0%)	353 (60.8%)	162 (27.9%)	66 (11.4%)	全体	581 (100.0%)	271 (46.6%)	231 (39.8%)	79 (13.6%)
国立大学	73 (100.0%)	59 (80.8%)	7 (9.6%)	7 (9.6%)	国立大学	73 (100.0%)	53 (72.6%)	14 (19.2%)	6 (8.2%)
公立大学	56 (100.0%)	45 (80.4%)	5 (8.9%)	6 (10.7%)	公立大学	56 (100.0%)	42 (75.0%)	7 (12.5%)	7 (12.5%)
私立大学	450 (100.0%)	247 (54.9%)	150 (33.3%)	53 (11.8%)	私立大学	450 (100.0%)	175 (38.9%)	209 (46.4%)	66 (14.7%)
その他	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	その他	2 (100.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)

【C社会人の学び直しに資する取組】	全体	記載がある	記載はない	無回答	【D公開講座の開設】	全体	記載がある	記載はない	無回答
全体	581 (100.0%)	200 (34.4%)	301 (51.8%)	80 (13.8%)	全体	581 (100.0%)	403 (69.4%)	124 (21.3%)	54 (9.3%)
国立大学	73 (100.0%)	44 (60.3%)	21 (28.8%)	8 (11.0%)	国立大学	73 (100.0%)	63 (86.3%)	5 (6.8%)	5 (6.8%)
公立大学	56 (100.0%)	27 (48.2%)	20 (35.7%)	9 (16.1%)	公立大学	56 (100.0%)	48 (85.7%)	2 (3.6%)	6 (10.7%)
私立大学	450 (100.0%)	127 (28.2%)	260 (57.8%)	63 (14.0%)	私立大学	450 (100.0%)	290 (64.4%)	117 (26.0%)	43 (9.6%)
その他	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	その他	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

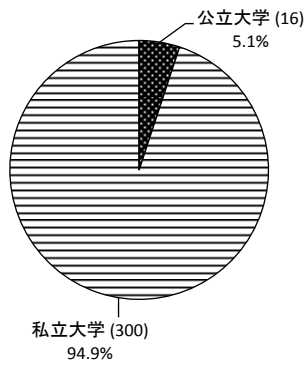
【E正規授業の公開】	全体	記載がある	記載はない	無回答	【F地域ニーズを把握するための調査や話し合いの実施】	全体	記載がある	記載はない	無回答
全体	581 (100.0%)	133 (22.9%)	365 (62.8%)	83 (14.3%)	全体	581 (100.0%)	183 (31.5%)	316 (54.4%)	82 (14.1%)
国立大学	73 (100.0%)	28 (38.4%)	37 (50.7%)	8 (11.0%)	国立大学	73 (100.0%)	44 (60.3%)	22 (30.1%)	7 (9.6%)
公立大学	56 (100.0%)	18 (32.1%)	29 (51.8%)	9 (16.1%)	公立大学	56 (100.0%)	31 (55.4%)	15 (26.8%)	10 (17.9%)
私立大学	450 (100.0%)	85 (18.9%)	299 (66.4%)	66 (14.7%)	私立大学	450 (100.0%)	107 (23.8%)	278 (61.8%)	65 (14.4%)
その他	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	その他	2 (100.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)

**B アンケート調査結果 — 短大編**

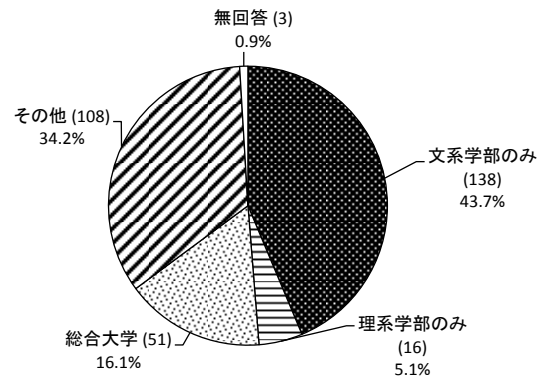


【回答者プロフィール】

図表 98 設置者の別



図表 99 学部構成



図表 100 設置者別 学部構成

	全体	文系学部のみ	理系学部のみ	総合大学	その他	無回答
全体	316 ( 100.0%)	138 ( 43.7%)	16 ( 5.1%)	51 ( 16.1%)	108 ( 34.2%)	3 ( 0.9%)
公立大学	16 ( 100.0%)	5 ( 31.3%)	0 ( 0.0%)	5 ( 31.3%)	6 ( 37.5%)	0 ( 0.0%)
私立大学	300 ( 100.0%)	133 ( 44.3%)	16 ( 5.3%)	46 ( 15.3%)	102 ( 34.0%)	3 ( 1.0%)